

現場説明書（技術的事項）

工事名称 福山市立神辺中学校管理棟校舎外壁改修工事

1 現場の状況

工事場所は、福山市神辺町字湯野 1313 番地に位置し、湯野 15 号線に接しています。

工事期間中、2026 年 7 月 18 日（土）から 8 月 24 日（月）は夏休み、2026 年 12 月 24 日（木）から 2027 年 1 月 6 日（水）は冬休みです。なお、土曜日、日曜日、祝日を含めて、生徒が登校しない日も校舎、屋内運動場、グラウンド等は使用することがあります。

2 別途工事

LED 照明改修工事

3 留意事項

- (1) 8 月 25 日（火）から 2 学期が開始するため、それまでに建具改修工事を完了させ、使用可能な状態にしてください。
- (2) 夏休み期間中に予定する個人懇談会や登校日等の学校行事では、当日の作業内容について、あらかじめ施設管理者と協議が必要です。
- (3) 校舎等の使用状況により、施工方法及び内容に変更が生じる場合があります。
- (4) 工事着手後、速やかに外壁劣化数量調査を行い、調査報告書を提出のうえ監督員の承諾を得て改修工事に着手してください。
- (5) 工事期間中も学校施設を使用しているため、工事関係者はもとより、職員、生徒、第三者への安全確保に必要な対策を講じてください。
- (6) 現場着手日及び工事関係車両の駐車場の計画は、あらかじめ施設管理者と協議のうえ決定してください。また、工事用車両は、通学時間帯を避けて出入りしてください。
- (7) 工事期間中であっても、室内換気や空調設備が使用できるように必要な対策を講じてください。
- (8) 特定建設資材は再資源化に努め、産業廃棄物は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」「資源の有効な利用の促進に関する法律」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令、建設副産物適正処理推進要綱に従い、適切に処理してください。なお、再資源化を図る資材は、「その他がれき類、建設混合廃棄物、廃プラ」です。

4 一般共通事項

- (1) 工事にあたっては、交通渋滞、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、近隣住民に迷惑のかからないよう十分配慮してください。
- (2) 工事車両等の進入・退出・停車等にあたっては十分な注意を払い、通行者等の安全を第一に図ってください。
- (3) 資材の搬出入時にはシート等でカバーするなど、土砂・木片等が飛散しないよう注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等のないように注意してください。また、道路等を汚損した場合は、速やかに清掃等の復旧を行い、工事期間中の進入、退出路にかかる維持管理は、受注者で行ってください。

- (4) 工事に係る留意事項は、下請負業者及び資材納入業者等にも指導を徹底してください。
- (5) 工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。
- (6) 工事排水についても管理を徹底し、周辺排水路等に土砂等を流した場合は、速やかに清掃を行ってください。
- (7) 工事範囲内において工事用進入路確保のために行う鉄板敷き等の必要な措置は、受注者で行ってください。また、仮囲い等については、設計図書等をもとに確実にを行い、工事途上で屋外工事等のために仮囲い等の移設、一時撤去復旧が必要となった場合は、関連工事と十分な調整を行い、必要に応じて可動フェンス（H=1.8m）等により工事範囲の明示と安全の確保を行ってください。
- (8) 本工事場所の進入口、通路は、施設使用に際し工事期間中も確保する必要があるため、各入口や通路の通行と安全の確保を行ってください。
- (9) 実施工程表は、契約後14日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工計画書等についても速やかに提出し、承諾を受けてください。
- (10) 工事により周囲の建物や工作物に汚損等が生じた場合は、監督員及び施設管理者に報告するとともに、受注者の責任で速やかに復旧してください。
- (11) はつり工事等施設使用に影響を及ぼす作業については、十分な騒音・粉塵対策を講じてください。
- (12) 工事施工に必要な官公署への手続きは、受注者の責任において速やかに行ない、手続きを行った場合は、速やかに報告してください。
- (13) 受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。
- (14) 受注者は、職種を問わず、積極的に「技能士」適用に努めてください。
- (15) 受注者は、工事实績情報システム（コリンズ）への登録内容をあらかじめ監督員の承諾を受け、次表の期間内に登録申請をしてください。


請負金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時
500万以上	契約後10日以内	変更契約後10日以内	工事完成後10日以内

- (16) 本工事は、インターネットを利用して発注者及び受注者の情報を電子的に交換・共有することにより、効率化を図る情報共有システムの対象工事です。本工事で利用する情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者との契約は受注者が行い、利用料を支払ってください。運用に当たっては、「福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領（建築工事）及び情報共有システム利用手引（建築工事）」を参照してください。

本工事は、発注者指定型のため、共通仮設費として情報共有システムの利用料を見込んでいます。受注者は、本システムを利用できない特別の事由がある場合は、工事着手までに当該事由を記載した工事打合せ簿を監督員に提出し、その承諾を得ることで本システムを利用しないことができます。

福山市立神辺中学校管理棟校舎外壁改修工事

図 面 目 録	
図面番号	図 面 名 称
1	建築改修工事特記仕様書 No-1
2	建築改修工事特記仕様書 No-2
3	建築改修工事特記仕様書 No-3
4	建築改修工事特記仕様書 No-4
5	建築改修工事特記仕様書 No-5
6	建築改修工事特記仕様書 No-6
7	建築改修工事特記仕様書 No-7
8	敷地案内図・配置図
9	平面図・腰壁詳細図
10	立面図
11	矩計図・展開図・部分詳細図・F工法詳細図
12	既存建具配置図・既存建具表
13	新設建具配置図・新設建具表
14	屋外便所各図面
15	附属棟(屋外便所、部室棟、倉庫、更衣室、電気室)

	工事名称 福山市立神辺中学校管理棟校舎外壁改修工事	尺度
	図面名称 表紙・図面目録	縮尺率 A1=100% A2= 71% A3= 50%
	福山市建設局建築部営繕課	図面No

福山市建築改修工事特記仕様書

- I 工事概要
1. 工事場所 広島県福山市神辺町宇野野133番地
2. 敷地面積 4.9, 4.9 9㎡
3. 工事種目 防水改修、外壁改修、建具改修、塗装改修、環境配慮改修
(1) 管理棟検査：鉄筋コンクリート造地上3層建(延べ面積30.8㎡)
(2) 躯体修繕：鉄筋コンクリート造平家建(延べ面積2.4㎡)
(3) 部室棟：コンクリートブロック造平家建(延べ面積8.2㎡)
(4) 倉庫：コンクリートブロック造平家建(延べ面積8.3㎡)
(5) 更衣室：コンクリートブロック造平家建(延べ面積3.0㎡)
(6) 電気室：鉄筋コンクリート造平家建(延べ面積1.9㎡)

- 4. 工事範囲
※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。
「3. 工事種目」のうち(1)～(5)の全てを工事範囲とする。
「3. 工事種目」のうち(1)～(6)の工事範囲は次表のとおりとする。
ただし、その他の工事種目は全て工事範囲とする。

Table with 2 columns: 工事種目, 工事範囲. Rows include 仮設工事, 防水改修工事, 外壁改修工事, 躯体改修工事, 内装改修工事, 塗装改修工事, 躯体改修工事, 環境配慮改修工事.

- II 建築改修工事仕様
1. 調査及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁審判部制定の「公共建築改修工事標準仕様書(建築改修) 令和7年版」(以下「改修標準仕様書」という。)及び「公共建築工事標準仕様書(建築改修) 令和7年版」(以下「標準仕様書」という。)によるほか、下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。
○ 建築工事標準仕様書(令和4年版) (以下「標準仕様書」という。)
○ 建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)
2. 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を選択する。なお、電気設備工事の工事特記仕様書は(/)記、機械設備工事の工事特記仕様書は(/)記による。
3. 特記仕様書の適用は次のとおり。
(1) 項目は、○ 印の付いたものを適用する。
(2) 特記仕様書は、○ 印の付いたものを適用する。
○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○ 印と ○ 印の付いた場合は、共に適用する。
(3) 特記事項に記載の[. . .]内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

- III 福山市建築改修工事仕様
本特記仕様書において、「監督職員」と記載があるものは「監督員」と読み替えるものとする。
本工事の工期は、設備工事の工期及び工事検査期間として14日を含んでいる。
本工事は、法定外の労務保護を含んでいる。

- 1. 官公署の手続き
受注者は、発注者が行うとされている関係官公署への必要な手続きを代行する。(官公署手続きは監督職員の承認後とする。)
2. 施工中の安全確保
本工事は、交通誘導員として 人を見込んでいる。
交通誘導員の配置については、実施広展(図末)及び配置状況の分かる立会写真の撮影を行い監督職員に提出する。
3. 監理(主任) 技術者
現場代理人及び監理(主任) 技術者は、工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用する。

- 4. 別契約の関連工事との調整等
・ 施工範囲は「工事区分表」による。
・ 別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無視とする。
・ 別契約の関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期例に行う。
5. 施工管理
※ 施工体制名簿の写しを提出する。

- 6. 施工方法及び施工計画書
提出した施工方法及び施工計画書の著作に係る当該権利に関する使用権は、発注者に帰属するものとする。

- 7. 保証書
次の工事について保証書を提出する。

Table with 4 columns: 工事区分, 材料名, 保証期間, 備考. Rows include 防水工事, 躯体改修工事, 外壁改修工事, 塗装改修工事, 躯体改修工事, 環境配慮改修工事.

- 8. 引渡し後点検
引渡し後、次の点検を行う。(○印の付いたものを適用する。)
・ 引渡し後点検(第1次点検) 引渡し後の概ね1年後
・ 引渡し後点検(第2次点検) 引渡し後の概ね2年後

特記事項

- 一般事項
適用基準
原則、本特記仕様書、標準仕様書に記載のない事項は次のとおり。
○ 建築物解体工事共通仕様書(令和5年版) 国土交通省大臣官庁官庁審判部
○ 建築工事写真撮影要領(令和5年版) 国土交通省大臣官庁官庁審判部
○ 建築工事標準仕様書(令和4年版) 国土交通省大臣官庁官庁審判部
○ 建築工事標準仕様書(令和4年版) 国土交通省大臣官庁官庁審判部

- 工事実施情報システム
登録
○ する
テーマ(コンス)への登録

- 書面の書式及び取扱い
情報共有システムの利用及び機能要件
○ 適用する
機能要件 (○ 現場説明書による)

- ・ 遠隔現場の監視
遠隔現場の適用及び実施内容
○ 適用する
実施内容 (・ 現場説明書による)

- 実施工程表
概成工期
・ 有り (・ 現場説明書による) ○ 無し

- 工事の記録等
報告に用いる書式等
・ 現場説明書による
○ 改修標準仕様書 1. 2. 4 (4) により整備する工事写真については次に示す「改修工事写真撮影要領」による工事写真撮影ガイドブック建築改修工事及び解体仕様書 令和5年版」
国土交通省大臣官庁官庁審判部

- 単行本・工事写真
提出仕様 (※ 比率(カラー))
提出仕様 (※ A4印刷、若しくはA4写真用紙)
提出部数 (※ 1部)

- ・ 電気保安技術者
配置
・ する

- 施工条件
・ 施工順序
()
・ 工事用車両の駐車場及び資機材の置き場
()
○ 改修標準仕様書 1. 3. 5 (1) から (3) まで以外の施工条件
○ 現場説明書による
○ 作業時間は、原則午前8時から午後5時までとし、通学時間帯を考慮とする。
○ 日曜日及び祝日に作業を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合は、この限りでない。
・ 週休2日適用工事 (・ 現場説明書による)

- 発生材の処理等
処理等
・ 発生者に引渡しを要するもの
・ 現場説明書による
・ 特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法
・ 現場説明書による
○ 工事現場において再利用及び再資源化を図るもの
○ 現場説明書による
・ ひま・カドミウム含有せっこうボードの処理
(・ 製造業者へ処分委託 ・ 管理型最終処分場で処理)
・ 石綿含有せっこうボード、ひま・カドミウム含有せっこうボード以外のせっこうボードの処理
(・ 管理型最終処分場で処理 ・ 再資源化)
・ FPC含有シーリング材の分析調査 (・ 行う)
・ FPC含有シーリング材の撤去 (・ 行う)
・ 特別管理産業廃棄物の分析調査 (・ 行う)

- ※ 建設生産情報交換システム(COBRIS) (財)日本建設情報総合センター
本工事は登録対象工事であるため、発注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は、速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。
また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入(搬出)する場合は、次表により計画書(実施書)を提出する。なお、これより異なる場合は、監督職員と協議する。

Table with 4 columns: 施工計画時, 工事完了時, 再生資源利用計画書, 再生資源利用促進計画書. Rows include 搬入, 搬出.

- 石綿含有建材の調査
調査
※ 石綿含有建材の事前調査
・ 工事着手前に立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。
調査範囲
・ 指示による
資与資料
・ 分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクリルライト、アモサイト、アンソソフライト、クリソタイト、クロソタイト、トシモライト

- 石綿含有建材の調査
資料採取箇所
「石綿則に基づく事前調査のベスト分析マニュアル【第2版】」の1. 7. 11による
・ 指示による

- 施工数量調査
各表の特記による。 [1. 6. 2][1. 6. 3]

特記事項

- 技士
適用
適用する技能検定の種別及び作業の種別は次表による。 [1. 7. 2]
適用工事種別 職 種 技能検定の作業の種別
仮設工事 とび ○ とび作業
鉄筋工事 鉄筋施工 ○ 鉄筋補立て作業
型枠施工 ○ 型枠工事作業
コンクリート工事 コンクリート圧送施工 ○ コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事 鉄工 ○ 構造物鉄工作業
コンクリートブロック造 ブロック建築 ○ コンクリートブロック工事作業
ALCパネル及び押出 繊維セメント板工事 エーエスシーバール工 ○ エーエスシーバール工事作業

- 防水工事
防水施工
○ アスファルト防水工事作業
○ ウレタンゴム系遮断防水工事作業
○ アクリルゴム系遮断防水工事作業
○ 合成ゴム系シート防水工事作業
○ 塩化ビニルシート防水工事作業
○ セメント系防水工事作業
○ シーリング防水工事作業
○ 改質アスファルトシート工法防水工事作業
○ 改質アスファルトシート浸透接着工法防水工事作業
○ FFR防水工事作業

- 石工工事 石材施工 ・ 石張り作業
タイル工事 タイル張り ・ タイル張り作業
木工工事 建築大工 ・ 大工工事作業
建築板金 建築板金 ・ 内外装板金作業
内装仕上り工事 内装仕上り施工 ・ 内外装板金作業
金銭工事 建築板金 ・ 内外装板金作業
左官工事 左官 ・ 左官作業
サッシ施工 ○ ビル用サッシ施工作業
ガラス施工 ○ ガラス工事作業

- 建築工事
自動ドア施工 ・ 自動ドア施工作業
カーテンウォール施工 ・ 金属製カーテンウォール工事作業
サッシ施工 ・ ビル用サッシ施工作業
ガラス施工 ・ ガラス工事作業
塗装工事 塗装 ○ 建築塗装作業
・ プラスチック系仕上り工事作業
・ カーベット系保仕上げ工事作業
・ 木質系仕上げ工事作業
・ ボード仕上げ工事作業

- 内装工事
内装仕上げ施工
・ 裏装 ・ 壁装作業
・ 配管 ・ 建築配管作業
・ 路盤標示施工 ・ 消磁ペイントハンドマーカーク工作業
・ 加磁ペイントマシンマーカーク工作業
・ 造園工事作業

- ・ 化学物質の濃度測定
濃度測定の実施
・ 適用する
測定種別 ・ 現場説明書による
測定対象化学物質
・ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン
測定方法
・ パッシブ型検知器による
測定対象化学物質の濃度測定及び測定結果
・ 現場説明書による

- 技術検査
中間技術検査
・ 実施回数()回
・ 実施する時期()
※ 工事請負契約締結後、監督職員から通知
提出図書
※ 改修標準仕様書 1. 9. 2及び1. 9. 3による

- 完成図
種類、記入内容等 [1. 9. 2][表1. 9. 1]
※ 改修標準仕様書 表1. 9. 1による
提出部数(1)部
提出仕様 ・ 紙ベース ○ 電子データ
・ 部
・ 部
※ 電子データ提出
一式(福山市竣工図書データ作成要領による。)
○ CADデータ(媒体(CD-R等)、データ形式等は監督職員の指示による。)

- 完成写真
作成等 [1. 9. 3]
提出部数(1)部
提出仕様(・ 紙ベース ・ 電子データ)

- 完成写真
工事完成時に次の完成写真を撮影し、監督職員に提出する。
撮影箇所(外巻4層、 各巻4層)
撮影仕様 (形式： ※ 電子データ JPEG フルカラー)
画質等： ○ 外巻 4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの
○ 各巻 1280×960ピクセル以上かつデジタルカメラの設定のうち最高の画質
提出仕様 (○ 電子データ ・ アルバム(A4判程度) 1部 ○ 写真集 1部)
検査後14日以内に提出する。
電子データ形式等は、監督職員の指示による。

特記事項

- ・ 騒音・粉じん等の対策 [2. 1. 3]
○ 防音パネル
○ 防音シート
防音パネル等を取り付ける取付等の設置範囲
・ 指示による

- 足場等 [2. 2. 1][表2. 2. 1]
外部足場
○ 設置する(設置範囲 ○ 工事に必要な範囲)
・ 設置しない
防音シート
○ 設置する(設置範囲 ○ 工事に必要な範囲)
・ 設置しない
内部足場
○ 設置する(※ 図示、足場等)
・ 設置しない
○ 材料、撤去材料等の撤去方法
種類(・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ○ E種)
例：利用可能なエレベーター ()
例：利用可能な階段 ()

- 既存部分の養生
養生方法等 [2. 3. 1]
○ 既存部分
養生方法(※ ビニルシート、合板)
○ 既存部分、取付設備等
養生方法(※ ビニルシート等)
・ 既存ブラインド、カーテン等
養生方法(・ ビニルシート等)
・ 固定された備品、机、ロッカー等の移動
・ 指示による

- 仮設間仕切り
仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 [2. 3. 2][表2. 3. 1]
○ 指示による
仮設間仕切りの種類と材質等

Table with 4 columns: 種別, 仕上がり(厚さmm), 塗装, 光電. Rows include A種, B種, C種, D種.

- 仮設間仕切りにおける仮設扉の材質等
材質 仕上がり 塗装 設置箇所
※ 木製 ※ 合板積層板 ・ なし ・ 内面 ・ 指示による
・ ・ ・ ・ ・

- 監督職員事務所等
監督職員事務所等
建物
・ 設置する ○ 設置しない
規模、仕上りの程度
・ 現場説明書による
設備
※ 監督職員との協議による
・ 現場説明書による
備品等の種類及び数量
・ 現場説明書による

- 工事用水
構内既存の施設
○ 利用できない ○ 利用できる(○ 有償 ・ 無償)

- 工事用電力
構内既存の施設
○ 利用できない ・ 利用できる(・ 有償 ・ 無償)

工事名称: 福山市立神辺中学校管理棟校舎外壁改修工事
図面名称: 建築改修工事特記仕様書 No-1
縮尺: S = No scale
縮尺率: 縮尺率 縮尺No
A1=100% A2= 71% A3= 50%
福山市建設局建築部営繕課
1/15

項目	特記事項
④ 施工数量調査	<p>調査範囲</p> <p>○ 外壁改修範囲</p> <p>○ 窓枠による</p> <p>調査内容</p> <p>ひび割れの幅及び長さを表示する。また、ひび割れ部の発生の有無、漏れの有無及び錆汁の流出の有無を調査する。</p> <p>モルタル塗布仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状等も調査する。</p> <p>コンクリート躯体のひび及はれは高部を短冊に表示する。</p> <p>塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のほげ及びはれ高部を短冊に表示する。また、既存塗膜と新機塗材との適合性を確認する。</p> <p>既存部分の破損を行った場合の補修方法</p> <p>○ 窓枠による</p> <p>調査報告書の部数 (○ 1部)</p>

項目	特記事項
4-1 ひび割れ部改修工法	<p>・ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.6~7]</p> <p>工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量 (m³/m)</p> <p>※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</p> <p>0.2以上~1.0未満 ※ 200~300 ※ 130</p> <p>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法</p> <p>0.2以上~0.3未満 ※ 50~100 ※ 40</p> <p>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</p> <p>0.3以上~0.5未満 ※ 100~200 ※ 70</p> <p>注入工法</p> <p>0.5以上~1.0未満 ※ 150~250 ※ 130</p> <p>注入状況の確認方法</p> <p>※ コアの採取を行う</p> <p>採取り回数 ※ 長さ500㎝ごと及びその倍数につき1個</p> <p>採取り部の補修方法</p> <p>※ 窓枠による</p> <p>・ リカットシール材充填工法</p> <p>・ シーリング材</p> <p>充填剤の種類</p> <p>※ 1成分型又は2成分型ポリウレタン系</p> <p>・ シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填</p> <p>・ 行う 行わない</p> <p>・ シーリング材の試験は改修標準仕様書 3章 防水改修工事による。</p> <p>・ 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・ 工法</p> <p>・ パウチエポキシ樹脂</p> <p>・ 可とう性エポキシ樹脂</p>

項目	特記事項
4-2 ひび割れ部改修工法	<p>・ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.6~8]</p> <p>工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量 (m³/m)</p> <p>※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</p> <p>0.2以上~1.0未満 ※ 200~300 ※ 130</p> <p>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法</p> <p>0.2以上~0.3未満 ※ 50~100 ※ 40</p> <p>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</p> <p>0.3以上~0.5未満 ※ 100~200 ※ 70</p> <p>注入工法</p> <p>0.5以上~1.0未満 ※ 150~250 ※ 130</p> <p>注入状況の確認方法</p> <p>※ コアの採取を行う</p> <p>採取り回数 ※ 長さ500㎝ごと及びその倍数につき1個</p> <p>採取り部の補修方法 ※ 窓枠による</p> <p>○ リカットシール材充填工法</p> <p>○ シーリング材</p> <p>充填剤の種類</p> <p>※ 1成分型又は2成分型ポリウレタン系</p> <p>・ シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填</p> <p>・ 行う 行わない</p> <p>・ パウチエポキシ樹脂</p> <p>・ 可とう性エポキシ樹脂</p>

項目	特記事項
○ 欠損部改修工法	<p>[4.1.4][4.3.5][4.3.9、10]</p> <p>・ 欠損部改修工法</p> <p>○ 充填工法</p> <p>○ ポリマーセメントモルタル</p> <p>・ モルタル塗替え工法</p> <p>・ 現場調合材料</p> <p>(セメントは改修特記仕様書 8.2 コンクリート工事による)</p> <p>既設目地材</p> <p>・ 使用する (形状・窓枠による)</p> <p>・ 仕上り又は全塗膜が25mmを超える場合は</p> <p>※ 窓枠による</p>

項目	特記事項
○ 浮き部改修工法	<p>[4.1.4][4.3.9][4.3.11、16]</p> <p>工法の種類 浮き部の本数 (本/m) 注入口の箇所数 (箇所/m) 注入量 (m³/箇所)</p> <p>一般部 指定部 一般部 指定部</p> <p>○ アンカーピンニング</p> <p>※ 16 ※ 25 ※ 25 ※ 25</p> <p>部分エポキシ樹脂注入工法</p> <p>・ アンカーピンニング</p> <p>※ 13 ※ ※ 12 ※ 20 ※ 25</p> <p>全面エポキシ樹脂注入工法</p> <p>・ アンカーピンニング</p> <p>※ 13 ※ ※ 12 ※ 20 ※ 50</p> <p>全面ポリマーセメントスラリー注入工法</p> <p>・ 注入口付アンカーピンニング</p> <p>※ 9 ※ 16 ※ 25</p> <p>部分エポキシ樹脂注入工法</p> <p>・ 注入口付アンカーピンニング</p> <p>※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 25</p> <p>全面エポキシ樹脂注入工法</p> <p>・ 注入口付アンカーピンニング</p> <p>※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 50</p> <p>全面ポリマーセメントスラリー注入工法</p> <p>・ 充填工法</p> <p>※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 25</p> <p>・ モルタル塗替え工法</p> <p>※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 50</p> <p>アンカーピンの材質</p> <p>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径 4mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質</p> <p>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径 6mm 程度</p> <p>注入工法用材料</p> <p>・ ポリマーセメントスラリー</p> <p>広がり温度 (℃) 長さ変化率 (%) 引張弾性率 (N/mm²) 曲げ強度 (N/mm²) 吸水性 (%) 耐久強度 (N/mm²)</p> <p>3以上 3以上 0.5以上 5.0以上 15以下 5.0以上</p> <p>吸水係数 0.35~0.45</p> <p>経路係数 0.50~1.00</p> <p>充填工法用材料</p> <p>・ エポキシ樹脂モルタル</p> <p>・ ポリマーセメントモルタル</p> <p>モルタル塗替え工法用材料</p> <p>・ 現場調合材料</p> <p>(セメントは改修特記仕様書 8.2 コンクリート工事による)</p> <p>・ 既設目地材</p> <p>・ 使用する (形状・窓枠による)</p> <p>・ 仕上り又は全塗膜が25mmを超える場合は</p> <p>※ 窓枠による</p> <p>平成7年度建設報告書1860号による「外壁修繕改修工法の開発」において、建設省大臣の技術評価を取得した工法とする。</p>

項目	特記事項
○ 外壁修繕改修工法	<p>平成7年度建設報告書1860号による「外壁修繕改修工法の開発」において、建設省大臣の技術評価を取得した工法とする。</p>

項目	特記事項
○ ひび割れ部改修工法	<p>[4.1.4][4.4.5、6]</p> <p>・ 樹脂注入工法</p> <p>工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量 (m³/m)</p> <p>※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</p> <p>0.2以上~1.0未満 ※ 200~300 ※ 130</p> <p>・ 手動式エポキシ樹脂注入工法</p> <p>0.2以上~0.3未満 ※ 50~100 ※ 40</p> <p>・ 機械式エポキシ樹脂注入工法</p> <p>0.3以上~0.5未満 ※ 100~200 ※ 70</p> <p>注入工法</p> <p>0.5以上~1.0未満 ※ 150~250 ※ 130</p> <p>注入状況の確認方法</p> <p>※ コアの採取を行う</p> <p>採取り回数 ※ 長さ500㎝ごと及びその倍数につき1個</p> <p>採取り部の補修方法 ※ 窓枠による</p> <p>○ リカットシール材充填工法</p> <p>○ シーリング材</p> <p>充填剤の種類</p> <p>※ 1成分型又は2成分型ポリウレタン系</p> <p>・ シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填</p> <p>・ 行う 行わない</p> <p>・ パウチエポキシ樹脂</p> <p>・ 可とう性エポキシ樹脂</p>

項目	特記事項
○ 欠損部改修工法	<p>[4.4.5][4.4.8]</p> <p>・ タイル部分修繕工法</p> <p>修繕剤の種類</p> <p>・ ポリマーセメントモルタル</p> <p>・ JIS A 5557に基づく一液反応硬化型変成シリコン樹脂系</p> <p>・ タイル修繕工法</p> <p>・ 接着剤 JIS A 5557に基づく一液反応硬化型変成シリコン樹脂系</p> <p>・ 張付けモルタル (現場調合材料) (既設モルタル)</p> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置</p> <p>※ 改修標準仕様書 4.4.2による</p> <p>・ 窓枠による</p> <p>外装タイル張り下地の下地モルタル及び下地調整塗りの接着力試験</p> <p>・ 行う 行わない</p> <p>・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り</p> <p>下地モルタル張りを行うコンクリート素地の処理</p> <p>・ 目直し工法 (改修標準仕様書 4.3.10 (3) による)</p> <p>タイル張りの工法</p> <p>・ 外装タイル</p> <p>・ 密着張り ・ 改良接着張り</p> <p>・ ユニッドタイル</p> <p>・ マタ張り ・ モザイクタイル張り</p> <p>・ 有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り</p> <p>モルタル張りを行うコンクリート素地の処理</p> <p>・ 目直し工法 (改修標準仕様書 4.3.10 (3) による)</p> <p>シーリング材の種類</p> <p>打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地</p> <p>※ ポリウレタン系</p> <p>伸縮調整目地その他の目地</p> <p>※ 変成シリコン系</p> <p>目地詰め (※ 行う 行わない)</p>

項目	特記事項
・ 浮き部改修工法	<p>[4.1.4][4.4.5、9~15]</p> <p>工法の種類 浮き部の本数 (本/m) 注入口の箇所数 (箇所/m) 注入量 (m³/箇所)</p> <p>一般部 指定部 一般部 指定部</p> <p>・ アンカーピンニング</p> <p>※ 16 ※ 25 ※ 25 ※ 25</p> <p>部分エポキシ樹脂注入工法</p> <p>・ アンカーピンニング</p> <p>※ 13 ※ ※ 12 ※ 20 ※ 25</p> <p>全面エポキシ樹脂注入工法</p> <p>・ アンカーピンニング</p> <p>※ 13 ※ ※ 12 ※ 20 ※ 50</p> <p>全面ポリマーセメントスラリー注入工法</p> <p>・ 注入口付アンカーピンニング</p> <p>※ 9 ※ 16 ※ 25</p> <p>部分エポキシ樹脂注入工法</p> <p>・ 注入口付アンカーピンニング</p> <p>※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 25</p> <p>全面エポキシ樹脂注入工法</p> <p>・ 注入口付アンカーピンニング</p> <p>※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 50</p> <p>全面ポリマーセメントスラリー注入工法</p> <p>・ 充填工法</p> <p>※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 25</p> <p>・ タイル修繕工法</p> <p>※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 50</p> <p>アンカーピンの材質</p> <p>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径 4mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質</p> <p>※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径 6mm 程度</p> <p>注入工法用材料</p> <p>・ タイル部分修繕工法</p> <p>・ 接着剤の種類</p> <p>・ ポリマーセメントモルタル</p> <p>・ JIS A 5557に基づく一液反応硬化型変成シリコン樹脂系</p> <p>・ タイル修繕工法</p> <p>・ 接着剤 JIS A 5557に基づく一液反応硬化型変成シリコン樹脂系</p> <p>・ 張付けモルタル (現場調合材料) (既設モルタル)</p> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置</p> <p>※ 改修標準仕様書 4.4.2による</p> <p>・ 窓枠による</p> <p>外装タイル張り下地の下地モルタル及び下地調整塗りの接着力試験</p> <p>・ 行う 行わない</p> <p>・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り</p> <p>下地モルタル張りを行うコンクリート素地の処理</p> <p>・ 目直し工法 (改修標準仕様書 4.3.10 (3) による)</p> <p>タイル張りの工法</p> <p>・ 外装タイル</p> <p>・ 密着張り ・ 改良接着張り</p> <p>・ ユニッドタイル</p> <p>・ マタ張り ・ モザイクタイル張り</p> <p>・ 有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り</p> <p>モルタル張りを行うコンクリート素地の処理</p> <p>・ 目直し工法 (改修標準仕様書 4.3.10 (3) による)</p> <p>シーリング材の種類</p> <p>打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地</p> <p>※ ポリウレタン系</p> <p>伸縮調整目地その他の目地</p> <p>※ 変成シリコン系</p> <p>目地詰め (※ 行う 行わない)</p>

項目	特記事項
○ 目地改修工法	<p>[4.1.4][4.4.16]</p> <p>・ 目地ひび割れ部改修工法</p> <p>・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</p> <p>伸縮調整目地の位置及び寸法</p> <p>・ 窓枠による</p> <p>○ 外壁修繕改修工法</p> <p>平成7年度建設報告書1860号による「外壁修繕改修工法の開発」において、建設省大臣の技術評価を取得した工法とする。</p>

項目	特記事項
○ 既存塗膜等の除去	<p>[4.5.4]</p> <p>下地処理及び下地調整</p> <p>工法 危険範囲 下地面の種類</p> <p>・ サンダー工法 ※ 既存仕上げ面全体 ※ 窓枠による</p> <p>・ 高圧水洗工法 ※ 既存仕上げ面全体 ※ 窓枠による</p> <p>・ 変膜はく離工法 ※ 窓枠による</p> <p>○ 水洗い工法 ※ サンダー工法、高圧水洗工法、変膜はく離工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ※ 窓枠による</p>

項目	特記事項
○ 下地調整工法	<p>[4.6.2]</p> <p>※ 下地調整塗材</p> <p>・ ポリマーセメントモルタル</p>

項目	特記事項																																										
○ 仕上り工法	<p>[4.1.5][4.5.2]</p> <p>新機仕上り材料の種類</p> <p>○ 塗付け仕上り</p> <table border="1"> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td>○ 外装塗材</td> <td>砂壁状</td> <td>吹付</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>・ 塗付け仕上り材料 (外装塗材)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗り</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>・ 塗付け仕上り材料 (外装塗材)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類 (呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗り</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	防火材料	○ 外装塗材	砂壁状	吹付	-	-	-	-	-	種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	防火材料																																								
○ 外装塗材	砂壁状	吹付	-																																								
-	-	-	-																																								
種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料																																							
-	-	-	-	-																																							
-	-	-	-	-																																							
種類 (呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料																																							
-	-	-	-	-																																							
-	-	-	-	-																																							

項目	特記事項
○ 補修仕上り工法	<p>種類 (呼び名) 仕上げの形状 工法 上塗り材料の種類 耐火性 防火材料</p> <p>・ 樹脂 ※ アクリル系 ※ 耐熱形 3種</p> <p>○ 補修塗材</p> <p>沖ず引 ローラー</p> <p>・ 外装 ※ つやあり ・ メタリック</p> <p>・ 消滅</p> <p>・ 水系</p>

項目	特記事項
・ 可とう塗膜仕上り工法	<p>種類 (呼び名) 仕上げの形状 工法 上塗り材料の種類 耐火性 防火材料</p> <p>・ 外装塗材</p> <p>・ 1種</p> <p>・ 耐熱形</p> <p>・ 2種</p> <p>・ 耐熱形</p> <p>・ 3種</p>

項目	特記事項																																
○ 改修工法	<p>[5.1.3]</p> <table border="1"> <tr> <th>修繕の種類</th> <th>かぶせ工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>○ アルミ窓枠取替</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○ 建築表による</td> </tr> <tr> <td>・ 樹脂製建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・ 建築表による</td> </tr> <tr> <td>・ 鋼製建具</td> <td>・ 内部</td> <td>-</td> <td>・ 建築表による</td> </tr> <tr> <td>・ 鋼製建具</td> <td>・ 内部</td> <td>-</td> <td>・ 建築表による</td> </tr> <tr> <td>・ 鋼製建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・ 建築表による</td> </tr> <tr> <td>・ ステンレス建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・ 建築表による</td> </tr> <tr> <td>・ 木製建具</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>・ 建築表による</td> </tr> </table> <p>新機仕上り材料の種類</p> <p>壁部分の開口の閉け方</p> <p>※ 窓枠による</p> <p>新機建具取替の補修工法及び範囲</p> <p>※ 窓枠による</p> <p>再使用材 (プラントボックス等)</p>	修繕の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	○ アルミ窓枠取替	○	○	○ 建築表による	・ 樹脂製建具	-	-	・ 建築表による	・ 鋼製建具	・ 内部	-	・ 建築表による	・ 鋼製建具	・ 内部	-	・ 建築表による	・ 鋼製建具	-	-	・ 建築表による	・ ステンレス建具	-	-	・ 建築表による	・ 木製建具	-	-	・ 建築表による
修繕の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																														
○ アルミ窓枠取替	○	○	○ 建築表による																														
・ 樹脂製建具	-	-	・ 建築表による																														
・ 鋼製建具	・ 内部	-	・ 建築表による																														
・ 鋼製建具	・ 内部	-	・ 建築表による																														
・ 鋼製建具	-	-	・ 建築表による																														
・ ステンレス建具	-	-	・ 建築表による																														
・ 木製建具	-	-	・ 建築表による																														

項目	特記事項
・ 防火戸	<p>[5.1.4]</p> <p>・ 指定する 適用箇所 (・ 建築表による)</p> <p>・ 指定しない</p> <p>防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とフェーズ装置、熱感知器又は感知器との連動</p> <p>・ 連動させる (・ 建築表による)</p> <p>・ 連動させない</p>

項目	特記事項
○ 建具の製作等	<p>[5.1.5]</p> <p>建具基本の製作 ・ 行う (建具番号)</p> <p>○ 行わない</p> <p>特殊な建具の取組 ・ 行う (建具番号)</p> <p>・ 行わない</p>

項目	特記事項
○ 防火建築物	<p>[5.1.7]</p> <p>・ 適用する (・ 建築表による)</p> <p>○ 適用しない</p>

項目	特記事項
○ アルミ窓枠取替	<p>[5.2.2~5]</p> <p>性能等級</p> <p>・ 耐火性能の等級 (○ 窓枠による)</p> <p>(建具番号) (建築表による)</p> <p>・ 気密性能の等級 (○ 窓枠による)</p> <p>(建具番号) (建築表による)</p> <p>・ 水密性能の等級 (○ 窓枠による)</p> <p>(建具番号) (建築表による)</p> <p>・ 断熱性能の等級 (○ 窓枠による)</p> <p>(建具番号) (建築表による)</p> <p>・ 遮音性能の等級 (○ 窓枠による)</p> <p>(建具番号) (建築表による)</p> <p>・ 遮音性能の等級 (○ 窓枠による)</p> <p>(建具番号) (建築表による)</p> <p>・ 遮音性能の等級 (○ 窓枠による)</p> <p>(建具番号) (建築表による)</p>

工務名称
福山市立神道中学校管理棟校舎外壁改修工事

図面名称
建築改修工事特記仕様書 No-3

図面No
A1-100a
A2-71s
A3-50s

尺度
S = No scale

縮尺
1/50

3/15

章	項目	特記事項				
1	網戸等	材料 ステンレス鋼板 ※ SUS304, SUS430J1L, 又はSUS443J1 ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種別 ○ BB-1 ・ BB-2 (改修標準仕様書表 6.2.2) 着色 ○ 標準色 ・ 特注色 屋内の建具 種別 BB-1 ・ BB-2 (改修標準仕様書表 6.2.2) 着色 ○ 標準色 ・ 特注色 結露水の処理方法 ○ 水貯め式 ○ 排水式 工法 水切り板、ぜん板 ※ 図示による				
		(5.2.3)(5.3.3)				
		種類	材質	線径	網目	
		・ 防虫網	※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316製)	※ 0.25mm以上	※ 16~18メッシュ	
2	樹脂製建具	性能値等 [5.3.2~5] 耐火性の等級 () 炎密性の等級 () 水密性の等級 () 外部に面する建具の種類 ・ A種 (建具符号: 建具表による) ・ B種 (建具符号: 建具表による) ・ C種 (建具符号: 建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・ T-1 ・ T-2) (建具符号: 建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8) (建具符号: 建具表による) 外部に面する建具の日射取得性の等級 ・ 枠の見込み寸法 ・ 建具表による				
		(5.3.2~5)				
		性能値等	耐火性の等級 ()	炎密性の等級 ()	水密性の等級 ()	
		外部に面する建具の種類	・ A種 (建具符号: 建具表による)	・ B種 (建具符号: 建具表による)	・ C種 (建具符号: 建具表による)	
3	木製建具	材料 ガラス ※ 複層ガラス ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL 形状及び仕上げ 表面色 ○ 標準色 ・ 特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※ 図示による				
		(5.7.2~4)				
		材料	ガラス	※ 複層ガラス ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL		
		形状及び仕上げ	表面色 ○ 標準色 ・ 特注色			
4	鋼製建具	性能値等 [5.4.2~6] 耐火性能型ドアセット ・ 適用する (建具符号: 建具表による) ・ 適用しない 外部に面する建具の耐火圧性 耐火圧性の等級 () (建具符号: 建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号: 建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号: 建具表による) 断熱ドア 耐火性の等級 () 室内気密性能等級 () (建具符号: 建具表による)				
		(5.4.2~6)				
		性能値等	耐火性能型ドアセット	耐火圧性の等級 ()	遮音性の等級 ()	断熱性の等級 ()
		外部に面する建具の耐火圧性	耐火圧性の等級 ()	(建具符号: 建具表による)	防音ドア・防音サッシ	遮音性の等級 ()
5	鋼製軽量建具	性能値等 [5.5.2~6] 耐火性能型ドアセット ・ 適用する (建具符号: 建具表による) ・ 適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号: 建具表による) 断熱ドア 耐火性の等級 () (建具符号: 建具表による) 断熱ドア 耐火性の等級 () 室内気密性能等級 () (建具符号: 建具表による)				
		(5.5.2~6)				
		性能値等	耐火性能型ドアセット	耐火圧性の等級 ()	遮音性の等級 ()	断熱性の等級 ()
		外部に面する建具の耐火圧性	耐火圧性の等級 ()	(建具符号: 建具表による)	防音ドア・防音サッシ	遮音性の等級 ()

章	項目	特記事項				
1	ステンレス製建具	性能値等 [5.6.2~5] 構造密度型ドアセット ・ 適用する (建具符号: 建具表による) ・ 適用しない 外部に面する建具の耐火圧性 耐火圧性の等級 () (建具符号: 建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号: 建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号: 建具表による) 断熱ドア 耐火性の等級 () 室内気密性能等級 () (建具符号: 建具表による)				
		(5.6.2~5)				
		性能値等	構造密度型ドアセット	耐火圧性の等級 ()	炎密性の等級 ()	水密性の等級 ()
		外部に面する建具の耐火圧性	耐火圧性の等級 ()	(建具符号: 建具表による)	防音ドア・防音サッシ	遮音性の等級 ()
2	木製建具	材料 ステンレス鋼板 ※ SUS304, SUS430J1L, 又はSUS443J1 ステンレス製くつずりの仕上げ ※ HL 形状及び仕上げ 表面色 ○ 標準色 ・ 特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※ 図示による				
		(5.7.2~4)				
		材料	ステンレス鋼板	※ SUS304, SUS430J1L, 又はSUS443J1		
		形状及び仕上げ	表面色 ○ 標準色 ・ 特注色			
3	鋼製建具	性能値等 [5.4.2~6] 耐火性能型ドアセット ・ 適用する (建具符号: 建具表による) ・ 適用しない 外部に面する建具の耐火圧性 耐火圧性の等級 () (建具符号: 建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号: 建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号: 建具表による) 断熱ドア 耐火性の等級 () (建具符号: 建具表による) 断熱ドア 耐火性の等級 () 室内気密性能等級 () (建具符号: 建具表による)				
		(5.4.2~6)				
		性能値等	耐火性能型ドアセット	耐火圧性の等級 ()	炎密性の等級 ()	水密性の等級 ()
		外部に面する建具の耐火圧性	耐火圧性の等級 ()	(建具符号: 建具表による)	防音ドア・防音サッシ	遮音性の等級 ()

章	項目	特記事項			
1	自動ドア開閉装置	性能値等 [5.8.4] マスターキー その他の鍵の製作未取 ※ 常時本鎖 (常時ロック) 鍵種 なし ・ あり			
		(5.8.4)			
		性能値等	マスターキー	その他の鍵の製作未取	鍵種
		外部に面する建具の耐火圧性	耐火圧性の等級 ()	(建具符号: 建具表による)	防音ドア・防音サッシ
2	自重シャッター	性能値等 [5.9.2] 戸の開閉方式 ・ 建具表による ・ 引き戸用駆動装置 性能値 ※ 改修標準仕様書表 5.9.1による (防錆 ・ 適用する ・ 適用しない) 以下による 種別・開閉方式 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () ※ 車椅子使用専用係出入り引き戸用駆動装置 性能値 ※ 改修標準仕様書表 5.9.2による (防錆 ・ 適用する ・ 適用しない) 以下による 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () 引き戸用係出装置 性能値 ※ 改修標準仕様書表 5.9.3による (防錆 ・ 適用する ・ 適用しない) 以下による 軸封部潤滑液受取電磁弁耐性 () 耐電圧 () 防錆 () 防滴 () 電源 () 引き戸係出装置の種類は改修標準仕様書表 5.9.4により、適用箇所は建具表による タッパスイッチの種類 ○ 無線式タッパスイッチ ○ 光線式タッパスイッチ 車椅子使用専用係出スイッチの種類 ・ 大型押しボタンスイッチ ・ 非接触スイッチ 運転経路措置 ○ 行方 ・ 行わない			
		(5.9.2)			
		性能値等	戸の開閉方式	引き戸用係出装置	性能値
		外部に面する建具の耐火圧性	耐火圧性の等級 ()	(建具符号: 建具表による)	防音ドア・防音サッシ
3	自重シャッター	性能値等 [5.10.3] 性能値等 ※ 改修標準仕様書表 5.10.1による 以下による 手動動作力 () 閉じ速度の調整 () 制動距離 () 閉鎖速度 () 耐衝撃性 ()			
		(5.10.3)			
		性能値等	性能値等	※ 改修標準仕様書表 5.10.1による	
		外部に面する建具の耐火圧性	耐火圧性の等級 ()	(建具符号: 建具表による)	防音ドア・防音サッシ
4	自重シャッター	性能値等 [5.11.2] シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防犯用シャッター 重量シャッターの重量シャッターの耐火圧強度 () Pa 閉鎖方式の種類 ※ 電動式 (手動併用) ・ 手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 設置箇所 (・ 図示) 電動式シャッターの障害物感知装置 設置箇所 ・ 図示) 屋内用防火シャッター若しくは防犯用シャッターの危険防止装置 (※ 危険防止装置、既設シャッターに改修により取り取り可動装置式) 設置箇所 (・ 図示) 管理用シャッターのシャッターケース ・ 取り出し装置がない スラッパ及びシャッターケース用板 鋼板の種類 JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板) JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 ※ 212又は12			
		(5.11.2)			
		性能値等	シャッターの種類	重量シャッターの重量シャッターの耐火圧強度 () Pa	閉鎖方式の種類
		外部に面する建具の耐火圧性	耐火圧性の等級 ()	(建具符号: 建具表による)	防音ドア・防音サッシ
5	軽量シャッター	性能値等 [5.12.2~4] 開閉方式の種類 ※ 手動式 手動動作力 (手動併用) 耐火圧強度 () Pa 安全装置 ・ 電動シャッターの急降下停止装置 設置箇所 (・ 建具表による) ・ 電動シャッターの障害物感知装置 設置箇所 (・ 図示) スラッパの材質 ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 (※ 206又は106) ・ JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板) めっきの付着量 (※ A200)			
		(5.12.2~4)			
		性能値等	開閉方式の種類	耐火圧強度 () Pa	安全装置
		外部に面する建具の耐火圧性	耐火圧性の等級 ()	(建具符号: 建具表による)	防音ドア・防音サッシ

章	項目	特記事項						
1	オーバヘッドドア	性能値等 [6.13.2.3] セクション材料による区分 前駆圧力による区分 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材質 ※ スチールタイプ ・ 50 ※ バランス式 ・ スタンダード形 ※ アルミニウムタイプ ・ 75 ・ チェーン式 ・ ローヘッド形 ※ ファイバーグラストタイプ ・ 100 ・ 電動式 ・ ハイリフト形 ・ ステンレス鋼板 ・ パーチカル形						
		(6.13.2.3)						
		性能値等	セクション材料による区分	前駆圧力による区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質	
		外部に面する建具の耐火圧性	耐火圧性の等級 ()	(建具符号: 建具表による)	防音ドア・防音サッシ	遮音性の等級 ()		
2	ガラス	性能値等 [3.7] [5.14.2~4] 電動式オーバヘッドドアの障害物感知装置 設置箇所 (・ 図示) ・ フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 (3.7) [5.14.2~4] ・ 建具表による ・ 架橋ガラスの厚さによる種類 ・ 建具表による ○ 網入り板ガラス及び網入り板ガラスの網又は網の形状、板の表面の状況及び厚さの呼びによる種類 ・ 建具表による ○ 図示による ・ 合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さ、特性による種類 ・ 建具表による ○ 強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類、厚さの呼びによる種類及び特性による種類 ・ 建具表による ・ 網線吸収ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類及び特性による種類 ・ 建具表による ・ 複層ガラス 材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、複層ガラスの厚さ、断熱性による区分、日射取得性、日射遮蔽性による区分及び封入気体の種類 ・ 建具表による ・ 網線吸収ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・ 建具表による ・ ガラスの留め材及び溝の大きさ						
		(3.7) [5.14.2~4]						
		性能値等	電動式オーバヘッドドアの障害物感知装置	ガラスの種類	ガラスの留め材及び溝の大きさ			
		外部に面する建具の耐火圧性	耐火圧性の等級 ()	(建具符号: 建具表による)	防音ドア・防音サッシ	遮音性の等級 ()		
3	ガラスブロック	性能値等 [5.14.5] 小口加工の仕上げの程度 () 表面形状 呼び寸法 (mm) ・ 160×160 ・ 200×200 呼び寸法 (mm) ・ 95 ・ 95 平均値 曲率半径 目地の位置 性能 目地の位置 性能						
		(5.14.5)						
		性能値等	表面形状	呼び寸法 (mm)	平均値	曲率半径	目地の位置	性能
		外部に面する建具の耐火圧性	耐火圧性の等級 ()	(建具符号: 建具表による)	防音ドア・防音サッシ	遮音性の等級 ()		
4	ガラス	性能値等 [5.14.5] 小口加工の仕上げの程度 () 表面形状 呼び寸法 (mm) ・ 160×160 ・ 200×200 呼び寸法 (mm) ・ 95 ・ 95 平均値 曲率半径 目地の位置 性能 目地の位置 性能						
		(5.14.5)						
		性能値等	表面形状	呼び寸法 (mm)	平均値	曲率半径	目地の位置	性能
		外部に面する建具の耐火圧性	耐火圧性の等級 ()	(建具符号: 建具表による)	防音ドア・防音サッシ	遮音性の等級 ()		

工事名称
福山市立神道中学校管理棟校舎外壁改修工事

図面名称
建築改修工事特記仕様書 No-4

図面No
S = No scale

縮尺率
A1=100%
A2=71%
A3=50%

縮尺No
4
15

福山市建設局建築部営繕課

○ 材料	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆	[7.1.3]																																																												
	防火材料 ※ 壁内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ※ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所：)	[7.2.1]																																																												
○ 下地調整	塗替え処理の既存塗膜の除去範囲 ○ 指示による	[7.2.3〜7.2.7]																																																												
	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">下地塗の種類</th> <th colspan="2">下地調整の種類</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>※ 除種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※ 除種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>重めつき鋼面</td> <td>※ 除種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>重めつき鋼面 (鋼製建具等)</td> <td>※ 除種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>モルタル、プラスチック</td> <td>※ 除種</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外)</td> <td>※ 除種</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>ALCパネル面</td> <td>※ 除種</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面、 コンクリート面 (DP)</td> <td>・ 除種 ・ 除種</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面及び その他ボード面</td> <td>※ 除種</td> <td>—</td> </tr> </table>	下地塗の種類	下地調整の種類		塗替え	ひび割れ部の補修	木部	※ 除種	—	鉄鋼面	※ 除種	—	重めつき鋼面	※ 除種	—	重めつき鋼面 (鋼製建具等)	※ 除種	—	モルタル、プラスチック	※ 除種	・ 行う ・ 行わない	コンクリート面 (DP以外)	※ 除種	・ 行う ・ 行わない	ALCパネル面	※ 除種	・ 行う ・ 行わない	押出成形セメント板面、 コンクリート面 (DP)	・ 除種 ・ 除種	・ 行う ・ 行わない	せつこうボード面及び その他ボード面	※ 除種	—	[7.3.2〜7.3.7]																												
下地塗の種類	下地調整の種類																																																													
	塗替え	ひび割れ部の補修																																																												
木部	※ 除種	—																																																												
鉄鋼面	※ 除種	—																																																												
重めつき鋼面	※ 除種	—																																																												
重めつき鋼面 (鋼製建具等)	※ 除種	—																																																												
モルタル、プラスチック	※ 除種	・ 行う ・ 行わない																																																												
コンクリート面 (DP以外)	※ 除種	・ 行う ・ 行わない																																																												
ALCパネル面	※ 除種	・ 行う ・ 行わない																																																												
押出成形セメント板面、 コンクリート面 (DP)	・ 除種 ・ 除種	・ 行う ・ 行わない																																																												
せつこうボード面及び その他ボード面	※ 除種	—																																																												
○ 禁止の塗料塗り	禁止の塗料塗りの種類 塗替えの種類	[7.4.2〜7.4.3]																																																												
	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">高圧塗</th> <th rowspan="2">塗替えの種類</th> <th rowspan="2">塗料の種類</th> <th colspan="2">工程の種類</th> </tr> <tr> <th>新設</th> <th>改修</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td>SP</td> <td>塗替え</td> <td>※ A種</td> <td>※ C種</td> </tr> <tr> <td>新設</td> <td>※ A種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重めつき鋼面</td> <td>SP</td> <td>塗替え</td> <td>※ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td>新設</td> <td>※ A種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">モルタル面及びプラスチック面</td> <td>SP</td> <td>塗替え</td> <td>※ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td>新設</td> <td>※ A種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面</td> <td>SP</td> <td>塗替え</td> <td>※ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td>新設</td> <td>※ A種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)</td> <td>SP</td> <td>塗替え</td> <td>※ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td>新設</td> <td>※ A種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">せつこうボード面及びその他ボード面</td> <td>SP</td> <td>塗替え</td> <td>※ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td>新設</td> <td>※ A種</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table>	高圧塗	塗替えの種類	塗料の種類	工程の種類		新設	改修	鉄鋼面	SP	塗替え	※ A種	※ C種	新設	※ A種	—	—	重めつき鋼面	SP	塗替え	※ A種	※ B種	新設	※ A種	—	—	モルタル面及びプラスチック面	SP	塗替え	※ A種	※ B種	新設	※ A種	—	—	コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面	SP	塗替え	※ A種	※ B種	新設	※ A種	—	—	押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)	SP	塗替え	※ A種	※ B種	新設	※ A種	—	—	せつこうボード面及びその他ボード面	SP	塗替え	※ A種	※ B種	新設	※ A種	—	—
高圧塗	塗替えの種類				塗料の種類	工程の種類																																																								
		新設	改修																																																											
鉄鋼面	SP	塗替え	※ A種	※ C種																																																										
	新設	※ A種	—	—																																																										
重めつき鋼面	SP	塗替え	※ A種	※ B種																																																										
	新設	※ A種	—	—																																																										
モルタル面及びプラスチック面	SP	塗替え	※ A種	※ B種																																																										
	新設	※ A種	—	—																																																										
コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面	SP	塗替え	※ A種	※ B種																																																										
	新設	※ A種	—	—																																																										
押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)	SP	塗替え	※ A種	※ B種																																																										
	新設	※ A種	—	—																																																										
せつこうボード面及びその他ボード面	SP	塗替え	※ A種	※ B種																																																										
	新設	※ A種	—	—																																																										

○ 石綿含有建材の除去工事	石綿含有建材の除去後の仕上げ工事 ○ 指示による	[9.1.1]
	石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定箇所	[9.1.1]
石綿含有建材の処理	石綿含有建材の処理 石綿含有吹付け材の除去 (石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む) 除去対象範囲 除去方法 ※ 改修標準仕様書 9.1.3 (2) (ア) による	[9.1.3]
	除去した石綿含有吹付け材等の処分 ※ 埋立処分 (管理型最終処分場) ※ 中間処理 (消触施設又は無害化処理施設)	[9.1.4]
石綿含有保温材等の除去	石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 除去方法 ※ 形状のまま、手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※ 湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ※ 埋立処分 (管理型最終処分場) ※ 中間処理 (消触施設又は無害化処理施設)	[9.1.5]
	石綿含有成形板等の除去 除去対象範囲 ○ シーリング (管理棟) 隔離養生 (負担不要) 方法 ※ 指示による ○ 行わない 足場 ※ 指示による ○ 監督員との協議による 除去した石綿含有成形板等の処分 ○ 埋立処分 (管理型最終処分場) ※ 中間処理 (消触施設又は無害化処理施設)	[9.1.6]
石綿含有仕上塗材の除去	石綿含有仕上塗材の除去 除去対象範囲 除去方法 養生方法 除去した石綿含有仕上塗材の部分 ※ 埋立処分 (管理型最終処分場) ※ 中間処理 (消触施設又は無害化処理施設) 汚泥としての処理	[9.2.2]
	既存外壁の処理 既存外壁仕上材の除去 ※ あり ・ なし 下地面の清掃 ※ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工事 ※ 行う ・ 行わない	[9.2.3]
既存外壁の処理	既存外壁仕上材の除去 ※ あり ・ なし 下地面の清掃 ※ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工事 ※ 行う ・ 行わない	[9.2.4]
	不陸等の下地調整 ※ 行う ・ 行わない 断熱材の施工 断熱材設置の仕様による 外装材の施工 外装材設置の仕様による 透気層の有無 あり () (mm) ・ なし 外装材内装への取付け ※ 指示による	[9.2.5]

・ 断熱・防露 改修工事	断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ※ F☆☆☆☆ 断熱材の厚さ (mm) ※ 25 ・ 30 断熱材の種類 A種1 ・ A種1H 吹付け厚さ (mm) ※ 25 ・ 30 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ※ F☆☆☆☆ 厚さ (mm) ※ F☆☆☆☆ 断熱材にせつこうボード等を取り付けたパネル 材厚 厚さ (mm) ※ F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 断熱材に直接ボードを取り付けた場合の取付け工法 () 断熱材にせつこうボード等を取り付けたパネルを使用する場合の工法 ()	[9.3.2]
	断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ※ F☆☆☆☆ 厚さ (mm) ※ F☆☆☆☆ 断熱材にせつこうボード等を取り付けたパネル 材厚 厚さ (mm) ※ F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 断熱材に直接ボードを取り付けた場合の取付け工法 () 断熱材にせつこうボード等を取り付けたパネルを使用する場合の工法 ()	[9.3.3]
・ 屋上強化改修工事	材料 ※ 指定による 異切り材、舗装材、排水孔、マルング材等 ※ 指示による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 指示による 防雨による かん水対策 ※ 設置する (種類) 既存保護層の除去 ※ 行う ・ 行わない 新補した芝及び地盤間の結露防止の期間 ※ 引渡しの日から1年	[9.3.4]
	材料 ※ 指定による 異切り材、舗装材、排水孔、マルング材等 ※ 指示による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 指示による 防雨による かん水対策 ※ 設置する (種類) 既存保護層の除去 ※ 行う ・ 行わない 新補した芝及び地盤間の結露防止の期間 ※ 引渡しの日から1年	[9.4.2]
・ 透水性アスファルト舗装改修工事	既存舗装の撤去及び再利用 ※ 指示による 路床 ※ 指示による 路床の材料 種類 ※ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ※ 指示による ※ 再生クラッシュラン ※ クラッシュラン ※ 切込み砂利 ※ 砂 ※ フィルター層 ※ 砂 ※ 指示による	[9.4.3]
	既存舗装の撤去及び再利用 ※ 指示による 路床 ※ 指示による 路床の材料 種類 ※ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ※ 指示による ※ 再生クラッシュラン ※ クラッシュラン ※ 切込み砂利 ※ 砂 ※ フィルター層 ※ 砂 ※ 指示による	[9.4.4]
・ 断熱・防露 改修工事	断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ※ F☆☆☆☆ 厚さ (mm) ※ 25 ・ 30 断熱材の種類 A種1 ・ A種1H 吹付け厚さ (mm) ※ 25 ・ 30 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ※ F☆☆☆☆ 厚さ (mm) ※ F☆☆☆☆ 断熱材にせつこうボード等を取り付けたパネル 材厚 厚さ (mm) ※ F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 断熱材に直接ボードを取り付けた場合の取付け工法 () 断熱材にせつこうボード等を取り付けたパネルを使用する場合の工法 ()	[9.5.2]
	断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ※ F☆☆☆☆ 厚さ (mm) ※ F☆☆☆☆ 断熱材にせつこうボード等を取り付けたパネル 材厚 厚さ (mm) ※ F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 断熱材に直接ボードを取り付けた場合の取付け工法 () 断熱材にせつこうボード等を取り付けたパネルを使用する場合の工法 ()	[9.5.3]
試験	試験 試験土の支持力比 (CR) 試験 ※ 行う ・ 行わない 路床層間度の試験 ※ 行う ・ 行わない 路床CR試験 ※ 行う ・ 行わない	[9.5.4]
	試験 試験土の支持力比 (CR) 試験 ※ 行う ・ 行わない 路床層間度の試験 ※ 行う ・ 行わない 路床CR試験 ※ 行う ・ 行わない	[9.5.5]
試験	試験 試験土の支持力比 (CR) 試験 ※ 行う ・ 行わない 路床層間度の試験 ※ 行う ・ 行わない 路床CR試験 ※ 行う ・ 行わない	[9.5.6]
	試験 試験土の支持力比 (CR) 試験 ※ 行う ・ 行わない 路床層間度の試験 ※ 行う ・ 行わない 路床CR試験 ※ 行う ・ 行わない	[9.5.7]

工事名称 福山市立神辺中学校管理棟校舎外壁改修工事	尺度 S = No scale
図面名称 建築改修工事特記仕様書 No-5	縮尺 A1=100% A2= 71% A3= 50%
縮尺 A1=100% A2= 71% A3= 50%	図面No 5/15

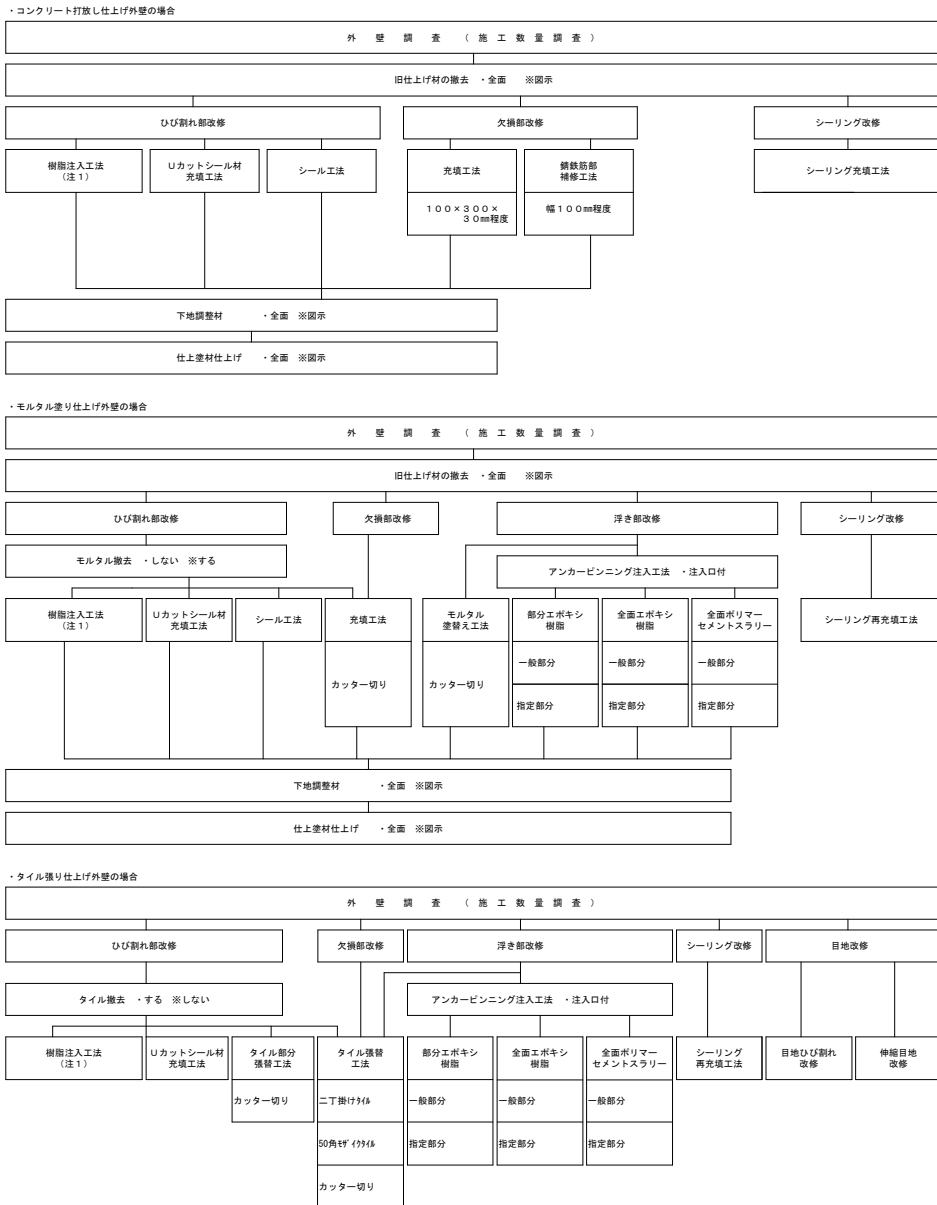
名称		D 浮き部処理	
記号・仕様	D-6 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 D-6' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	[4.3.15] [4.4.13]	
改修前			
改修後			
工程	<p>①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>③ステンレスピン（注入口付）挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑤穿孔部処理し【エポキシパチ】 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑥注入口穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑧エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑨穿孔部処理し【エポキシパチ】 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑩リザーブレン 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑪水洗い（150㎖程度） 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑫セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）</p>	<p>①一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>②一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>③一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>④一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑤一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑥一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑦一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑧一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑨一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑩一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑪一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑫一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>※D-6'工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。</p> <p>※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。</p> <p>設計数量：①一般部分：0.0㎡ ②指定部分：0.0㎡ ③破損部：0.0㎡</p>	

名称		D 浮き部処理	
記号・仕様	D-7 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 D-7' タイル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ※標準グリッド等は、D-6、D-6'と同じ	[4.3.16] [4.4.14]	D-8 タイル面注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法（小口タイル以上）
改修前			
改修後			
工程	<p>①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>③ステンレスピン（注入口付）挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>④ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑤穿孔部処理し【リザーブレン】 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑥リザーブレン 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑦水洗い（150㎖程度） 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑧セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）</p>	<p>①穿孔 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>③ステンレスピン（注入口付）挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑤穿孔部処理し【化粧キャップもしくは錆色樹脂パチ】 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑥一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑦一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑧一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑨一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑩一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑪一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑫一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>※D-7'工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。</p> <p>※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。</p> <p>設計数量：①一般部分：0.0㎡ ②指定部分：0.0㎡ ③破損部：0.0㎡</p>	<p>①一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>②一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>③一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>④一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑤一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑥一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑦一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑧一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑨一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑩一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑪一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑫一部分 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>設計数量：0.0㎡</p>

名称		E 欠損部処理	
記号・仕様	E-1 打抜き面充填工法 E-2 打抜き面欠損部処理 E-3 モルタル面欠損部処理	[4.2.8] [4.2.3] [4.3.3]	
改修前			
改修後			
工程	<p>①欠損部はつり等での整形</p> <p>②水洗い（150㎖程度）</p> <p>③欠損部はつり部処理し【※8'77-7741493 ・※8'77-7741494】</p> <p>④セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）</p>	<p>①欠損部・錆鉄筋周辺はつり等での整形</p> <p>②鋼棒とし</p> <p>③水洗い（150㎖程度）</p> <p>④鉄筋処理</p> <p>⑤欠損部はつり部処理し【※8'77-7741493 ・※8'77-7741494】</p> <p>⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）</p>	<p>①カッター縁切り（C-3）</p> <p>②欠損部はつり等での整形</p> <p>③水洗い（150㎖程度）</p> <p>④欠損部はつり部処理し【※8'77-7741493 ・※8'77-7741494】</p> <p>⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） （鉄筋の露出部がある場合はE-2による）</p> <p>⑥一部分 1.3㎡ ⑦一部分 0.2㎡ ⑧一部分 0.1㎡</p>

名称		F 外壁複合改修工法	
記号・仕様	F 外壁複合改修工法		
改修前			
改修後			
工程	<p>下地補修後</p> <p>① プライマー下塗り</p> <p>② 珪素ペースト中塗り</p> <p>③ 珪素ペースト上塗り</p> <p>④ ワッシャー付アンカーピン打ち込み</p> <p>⑤ 珪素ペースト中塗り</p> <p>⑥ アスベスト除去剤付 ①-30×15×20 ステンレスビス止（φ50）</p> <p>⑦ シーリング打設（MS-2）</p>	<p>設計数量</p> <p>管壁棟</p> <p>ネット張り 164㎡ 水切 79.6㎡</p>	

外壁改修フロー図



(注1) 樹脂注入工法の工法の種類を示す

設計数量	ネット張り	164㎡
(管壁棟)	水切	79.6㎡

工事名称
福山市立神辺中学校管理棟校舎外壁改修工事

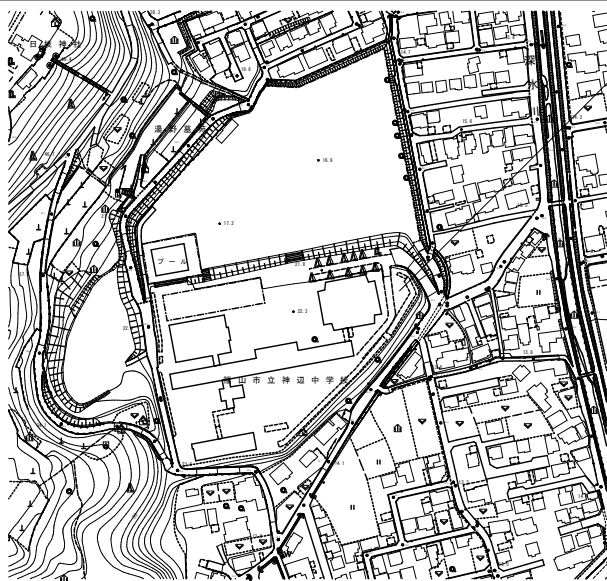
図面名称
建築改修工事特記仕様書 No-7

縮尺率
A1=100%
A2=71%
A3=50%

図面No
7/15

尺数
S = No scale

福山市建設局建築部營繕課



敷地案内図 NoScale

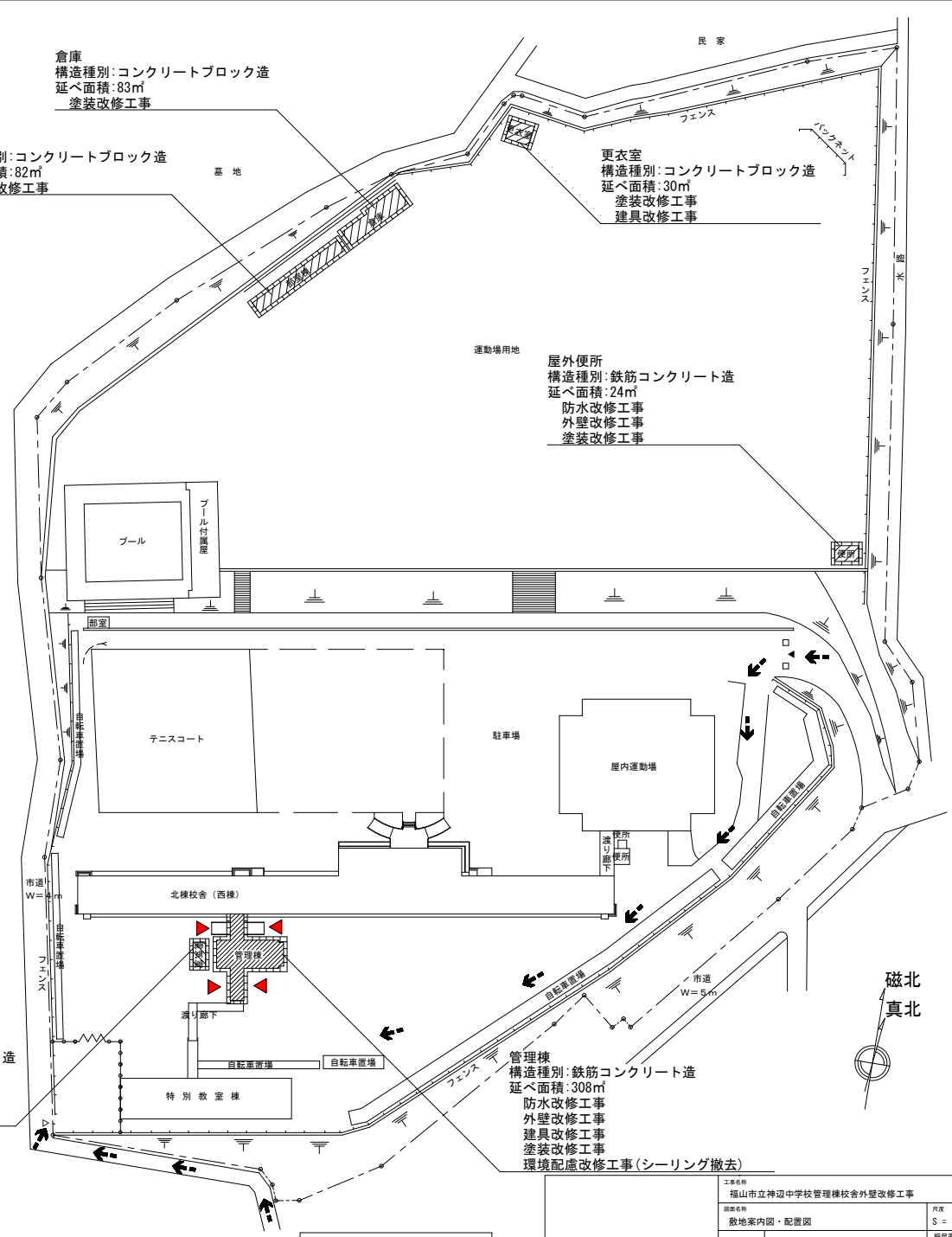
施工条件

- ① 工事車両出入口及び機器・資材搬入口は東・西側出入口とする。
- ② 仮囲いに設ける工事車両出入口はキャスターゲート程度とし、通行時以外は常時閉鎖する。
- ③ 施工者が必要と判断した場合には出入口前に鉄板・合板パネル等を敷いて養生する。
- ④ 既存施設を汚損させないよう養生等の対策を講ずること。既存部分を汚損した場合は速やかに監督員へ報告し、承諾を受けた後に復旧を行う。
- ⑤ 児童又は生徒の移動が集中する時間帯（登下校時等）は工事車両及び資材の搬出入を避ける。
- ⑥ 工事車両の通行部分は、工事中及び工事完成時に地均し復旧を行う。
- ⑦ 配置図に記載された仮設計画は、発注者の考え方を示したものである。実際の施工においては、事前に学校関係者及び監督員と協議を行うとともに詳細な現地調査・搬出入路等の検討を行い、より安全な施工に努める。
- ⑧ 仮設足場（先行足場、階段共）には、防護シートを張り埃等の飛散を防ぐ。
- ⑨ 工事関係者以外の者を工事エリアに侵入させないために、仮設足場1段目には金網等(H=1,800程度)を設置し、施錠付きの出入口を設ける。
- ⑩ 昇降所等の建物出入口には、落下防止措置を講ずる。
- ⑪ 仮設足場解体後は、主任技術者が現地確認を行い、必要に応じて美装及び現状復旧を行う。
- ⑫ エアコンを使用できるように室外機を養生する。
- ⑬ 外部の水洗い時及び塗料等の臭気を伴う作業の際は、開口部を十分に目張りする。

凡例

記号	内容
	工事範囲(改修建物)
	仮囲い:成形鋼板 H=2000
	キャスターゲート W=6000 H=1800
	工事車両進入路
	仮設足場
	児童・生徒出入口(足場部出入口養生)

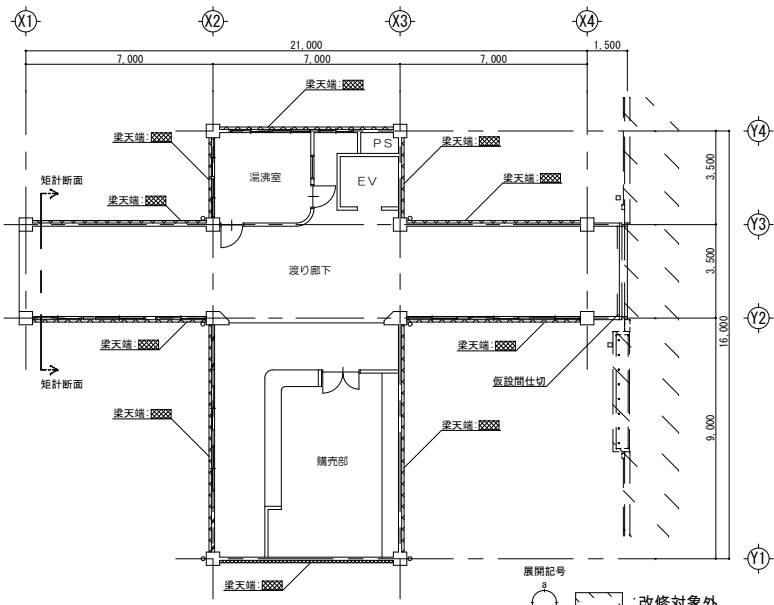
電気室
 構造種別:鉄筋コンクリート造
 延べ面積:19㎡
 防水改修工事
 外壁改修工事
 塗装改修工事



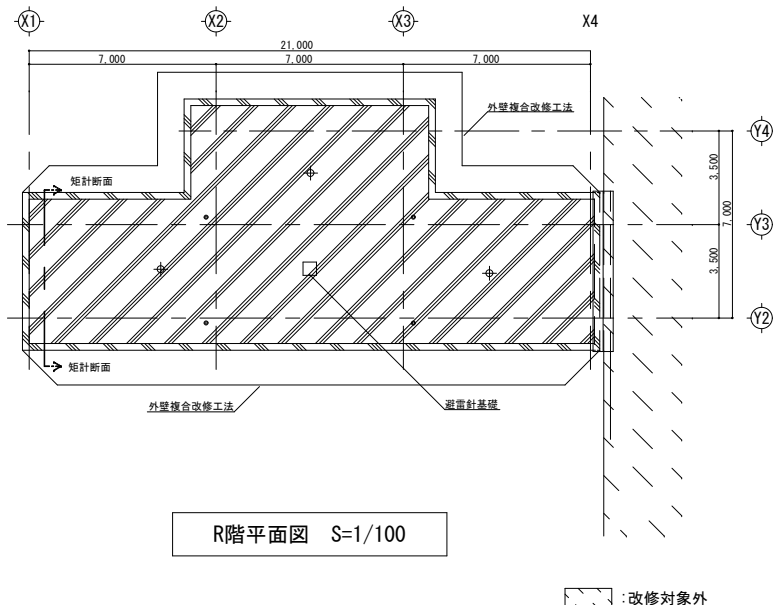
配置図 S=1/600

工事名称	福山市立神辺中学校管理棟外壁改修工事	
図面名称	敷地案内図・配置図	尺度 S=1/600
縮尺率	縮尺率	図面No
A1=100%	A2=71%	8
A3=50%		15

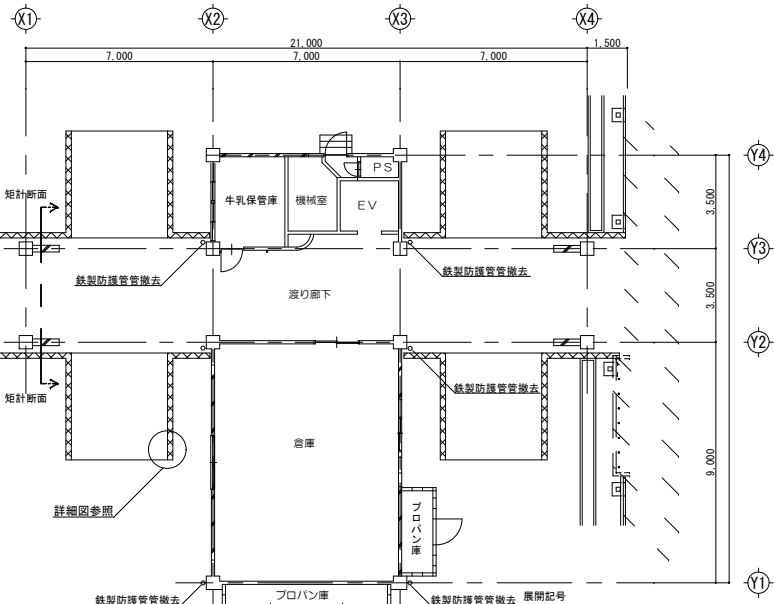
福山市建設局建築部営繕課



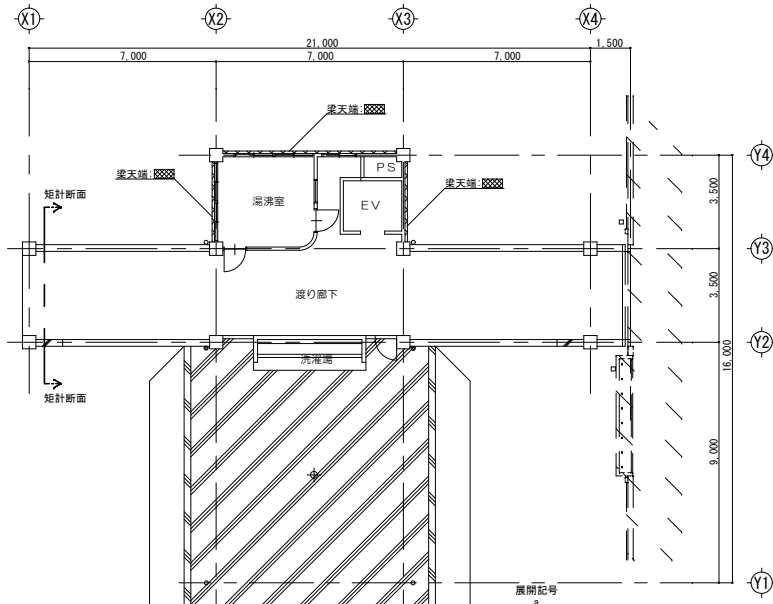
2階平面図 S=1/100



R階平面図 S=1/100

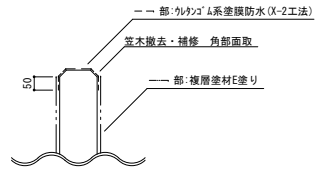


1階平面図 S=1/100

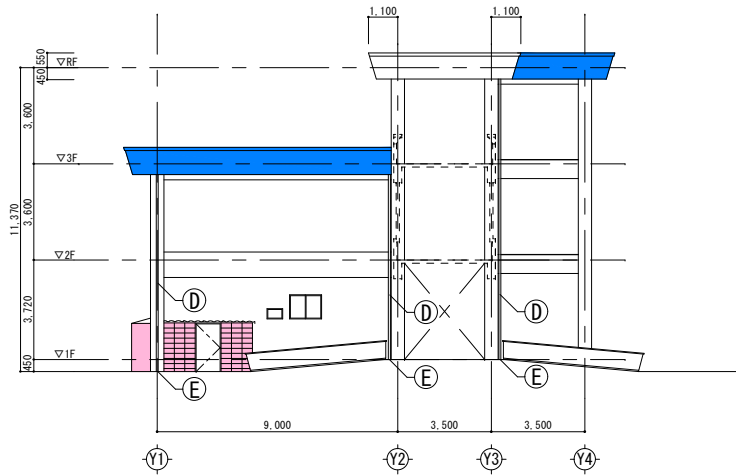


3階平面図 S=1/100

凡例	改修内容
既存	防水モルタルコ子押え
改修	平場・立上り:水洗い、下地調整(クワック処理・目地埋め共)の上 ウレタン系塗膜防水(X-2工法) ※手摺基部:100mm程度巻き上げ
既存	シート防水
改修	平場・水洗い、既存防水層撤去・剥離・浮き部補修の上 合成 高分子系 μ -フックシート張り (塩化ビニル樹脂系 $t=1.5$ S-M2機械的固定工法)
既存	シート防水
改修	立上り・溝部:既存防水層撤去、クワック処理、水洗い、下地調 整(クワック処理共)の上 合成高分子系 μ -フックシート 張り(塩化ビニル樹脂系 $t=2.0$ S-F2接着工法)
既存	VP縦樋 $\phi 75$
改修	既存撤去(金具共)の上 新VP $\phi 75$ 取付(SUS金具共) 【外壁複合改修工法(F工法)施工範囲】
改修	外壁劣化改修、水洗い、外壁複合改修の上 複層 塗材E塗り(軒裏部分は外装薄塗材E塗り)
共通事項	水洗いの水圧力は $15\text{MPa}[\text{N}/\text{mm}^2]$ 程度とする。 シート防水は建築基準法施行令第82条の4及び β - β 基準を満たす ものとする。

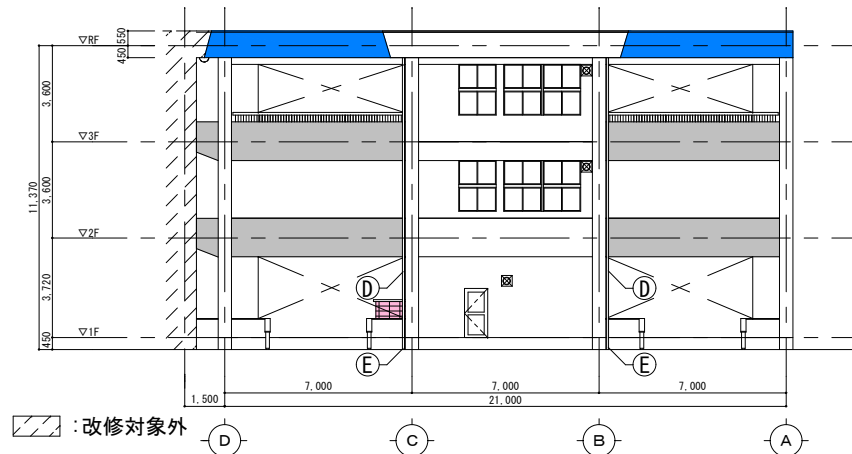


腰壁詳細図 S=1/100



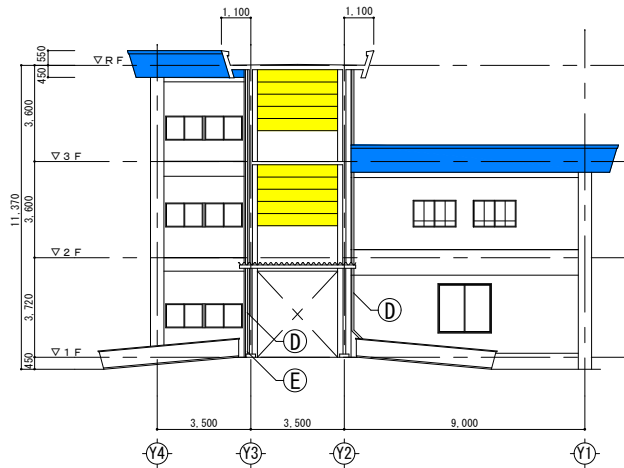
北側立面図 S=1/100

- (A) : 外壁及び軒裏全面
 () 部を除く
 (E) : コンクリートブロック部
 水洗い、下地調整の上、複層塗材E塗り



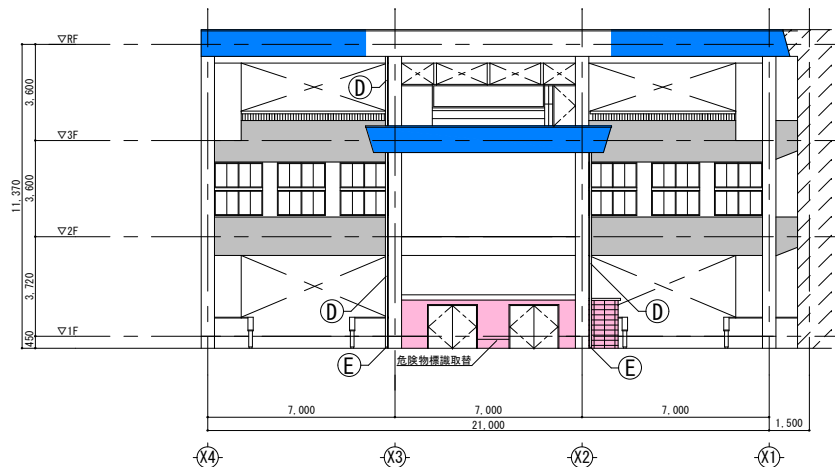
西側立面図 S=1/100

- (A) : 外壁及び軒裏全面
 () 部を除く
 () : 打放しコンクリート部
 外壁調査、水洗いのみ
 (E) : コンクリートブロック部
 水洗い、下地調整の上、複層塗材E塗り



南側立面図 S=1/100

- (A) : 外壁及び軒裏全面
 () 部を除く
 () : サイディング部
 水洗いのみ



東側立面図 S=1/100

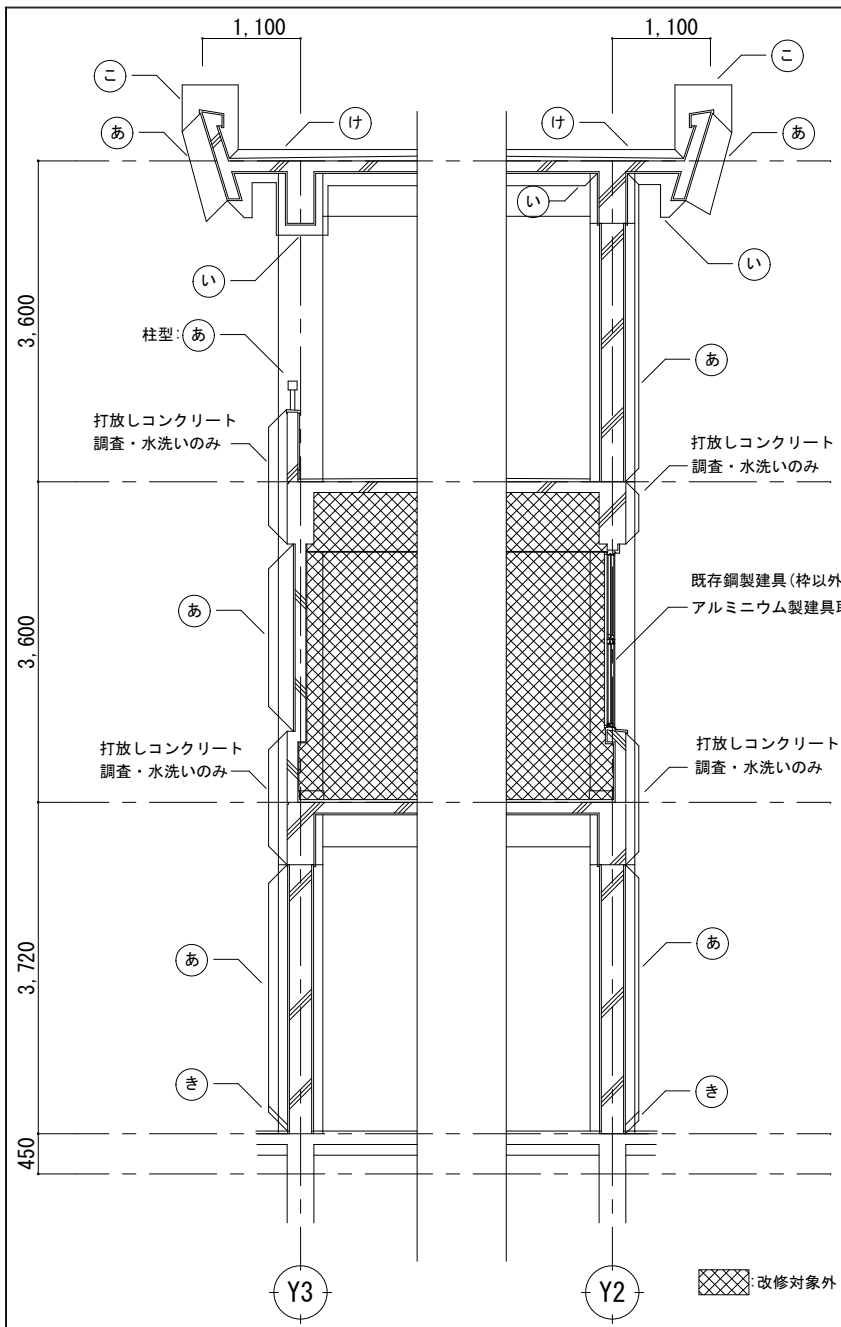
- (A) : 外壁及び軒裏全面
 () 部を除く
 () : 打放しコンクリート部
 外壁調査、水洗いのみ
 (E) : コンクリートブロック部
 水洗い、下地調整の上、複層塗材E塗り

凡例・共通事項

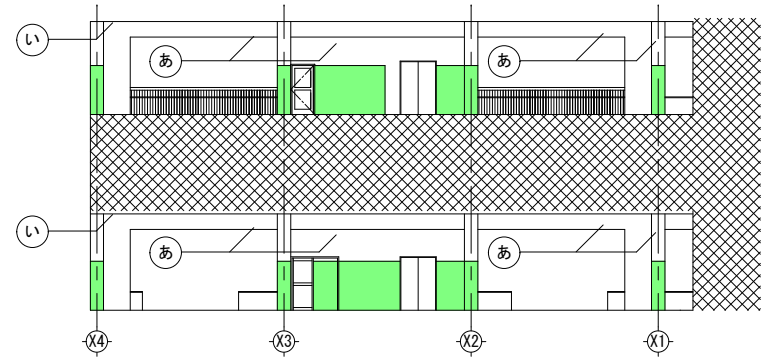
凡例	仕上げ
(A) 既存	外壁:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付 軒裏:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付
改修	外壁:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 複層塗材E塗り 軒裏:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 外装薄塗材E塗り
(B) 既存	耐震CON壁:外装薄塗材E吹付 耐震鉄部:DP塗装
改修	耐震CON壁:清掃の上、換層塗材E塗り (上塗材2回塗りのみ) 耐震鉄部:下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性 塗料塗り(DP)
(C) 既存	外壁石綿含有部:アクリルリシン吹付 外壁:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 複層塗材E塗り
改修	軒裏:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 外装薄塗材E塗り
(D) 既存	壁種:VPφ75
改修	既存撤去(金具共)の上 かつVPφ75取付(SUS金具共)
(E) 既存	耐震基礎防護管(鉄製)
改修	撤去

・ 建具周囲・水切端部:変成シリコンシーリング(MS-2)15×15打替
 ・ 既存鉄部:下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り(DP)
 [対象]設備配管・換気口・カバー・電気BOX・建具(両面・小口・持共)・その他監督員が指示するもの
 ・ 基礎幅木は原則水洗いのみ行う。ひび割れ等の補修が必要と思われる場合は監督員と協議する。

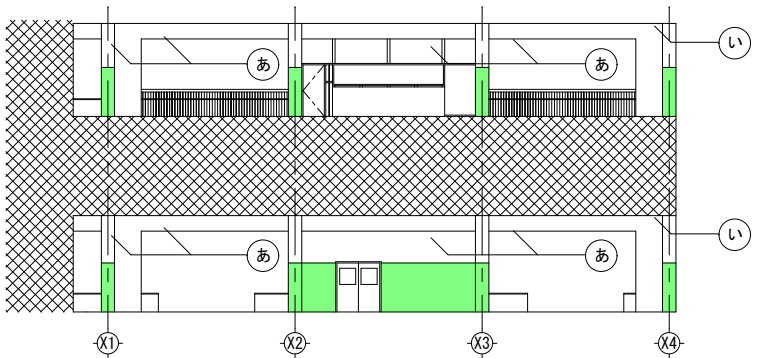
工事名称	福山市立神辺中学校管理棟校舎外壁改修工事		
図面名称	立面図	尺度	S = 1/100
縮尺率	図面No.	A1=100%	10
		A2=71%	
		A3=50%	
縮尺率	図面No.	福山市建設局建築部営繕課	



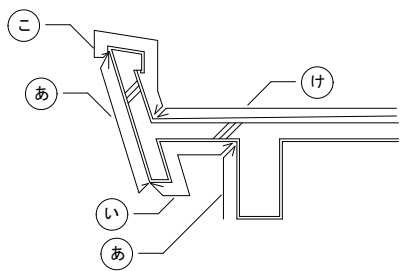
矩計図 S=1/30



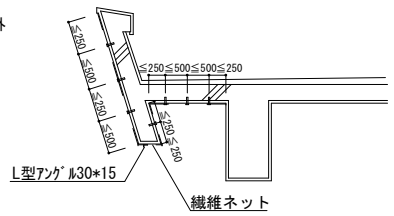
展開図 a S=1/100



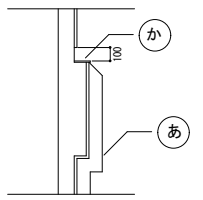
展開図 b S=1/100



大庇詳細図 S=1/20



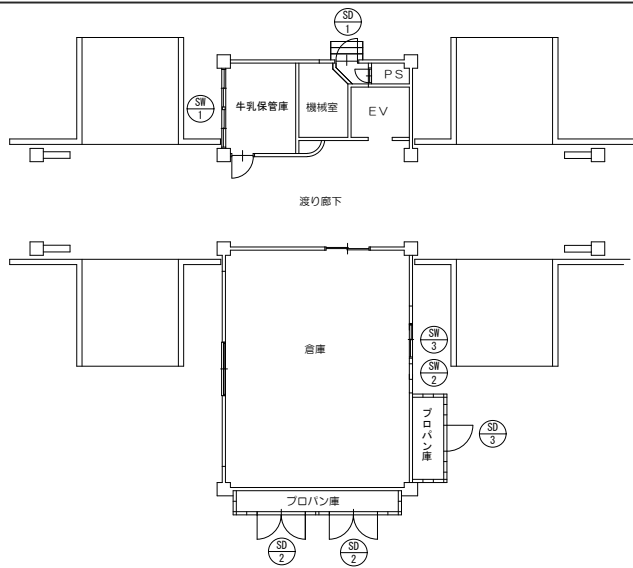
F工法詳細図 S=1/20



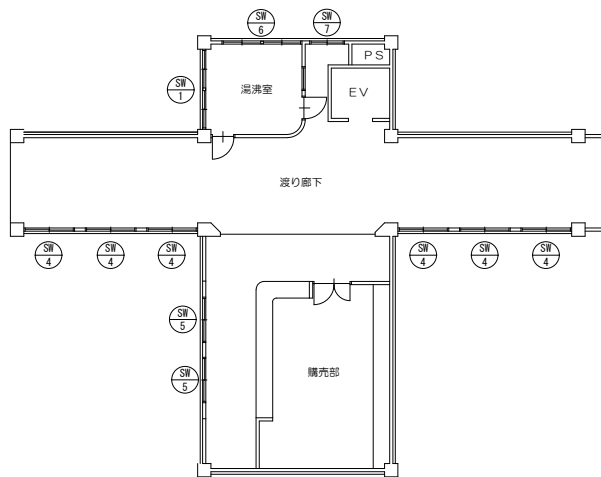
梁型詳細図 S=1/20

符号	仕上げ	符号	仕上げ
㊦	既存 外壁:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付	㊦	既存 幅木:モルタル金コ押え
改修	外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 複層塗材E塗り	改修	水洗い
㊧	既存 軒裏:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付	㊧	既存 壁柱: VPφ75
改修	外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 外装薄塗材E塗り	改修	既存撤去(金具共)の上 上-VPφ75取付(SUS金具共)
㊨	既存 耐震OON壁:外装薄塗材E吹付	㊨	既存 シート防水(牙場)
改修	耐震鉄部:DP塗装	改修	水洗い、既存防水層損傷・剝離・浮き部補修の上、シート防水(S-M2 t=1.5)
㊩	既存 耐震OON壁:清掃の上-複層塗材E塗り(上塗材2回塗りのみ)	㊩	既存 シート防水(立上り・溝部)
改修	耐震鉄部:下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り(DP)	改修	既存防水層撤去、ケルン・清掃、水洗い、下地調整の上 シート防水(S-F2 t=2.0)
㊪	既存 外壁石綿含有部 アクリルリシン吹付	㊪	既存 モルタル刷毛引き
改修	外壁:外壁劣化改修-水洗い、下地調整(C-2)の上 複層塗材E塗り	改修	下地調整の上、EP-G塗り
㊫	既存 鉄部:塗装仕上げ		
改修	下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り(DP)		
㊬	既存 防水モルタル塗り		
改修	平場・立上り:水洗い、下地調整の上 ㊧㊧㊧㊧系塗膜防水(X-2)		

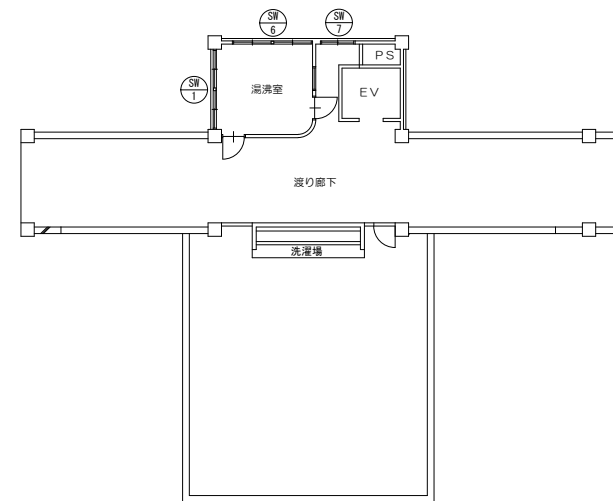
※水洗いの水圧力15MPa[N/mm²]程度とする。



1階平面図 S=1/100

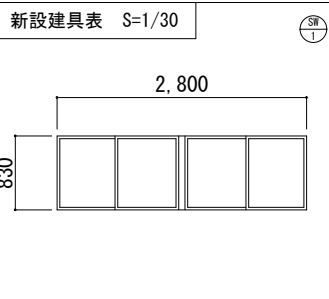
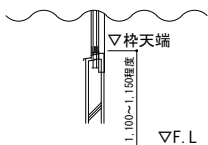


2階平面図 S=1/100

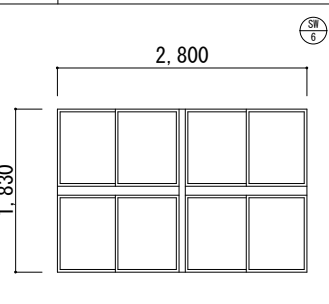


3階平面図 S=1/100

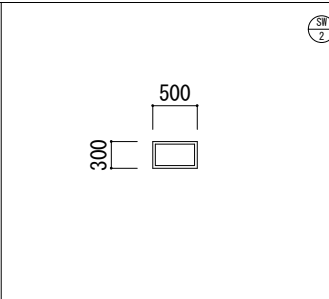
- ① 既存鋼製建具のうち、上記の建具配置図及び右記の建具表に記載されたものを建具改修、塗装改修の対象とする。
- ② ①以外の外部建具については、水洗い・清掃を行う。
- ③ 改修方法については、鋼製窓の場合は、原則かぶせ工法による改修を行い、鋼製戸については、耐候性塗料による改修を行う。
- ④ ③の塗装を行う範囲は、戸の両面及び枠並びに小口とする。
- ⑤ 建具の性能等級等は以下の通り。
- | 性能項目 | 種別 |
|------|----------|
| 耐風圧 | S-5 (B種) |
| 気密性 | A-3 (B種) |
| 水密性 | W-4 (B種) |
- ⑥ 結露水を外部へ処理できる仕様とすること。
- ⑦ 表面処理及び色は以下の通り。
- | 表面処理 | 色 |
|-------|------|
| BB-1種 | シルバー |
- ⑧ 新規窓枠の天端位置は以下の通り。



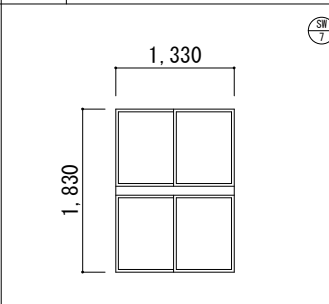
数量	3	見込	70
ガラス	強化型板ガラス(ミスト) t=4		



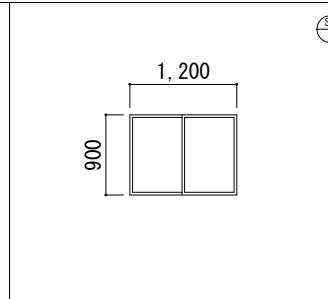
数量	2	見込	70
ガラス	学校用強化ガラス t=4		



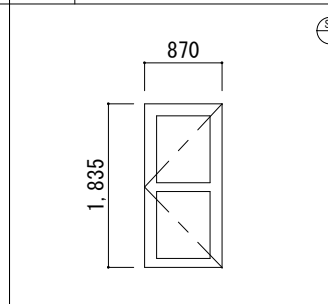
数量	1	見込	70
ガラス	強化型板ガラス(ミスト) t=4		



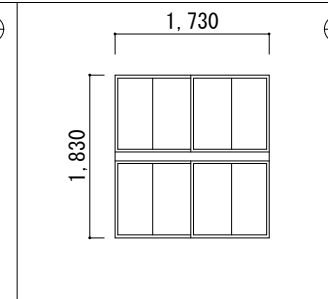
数量	2	見込	70
ガラス	学校用強化ガラス t=4		



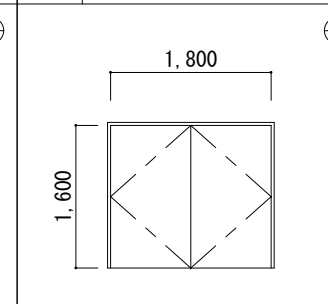
数量	1	見込	70
ガラス	学校用強化ガラス t=4		



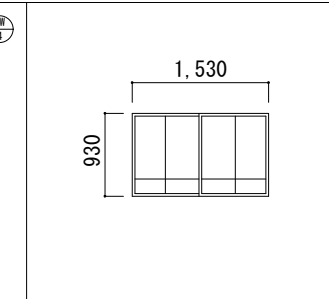
数量	1	塗装	耐候性塗料塗り
----	---	----	---------



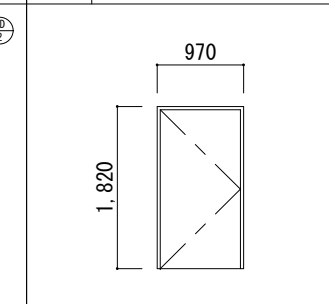
数量	6	見込	70
ガラス	学校用強化ガラス t=4		



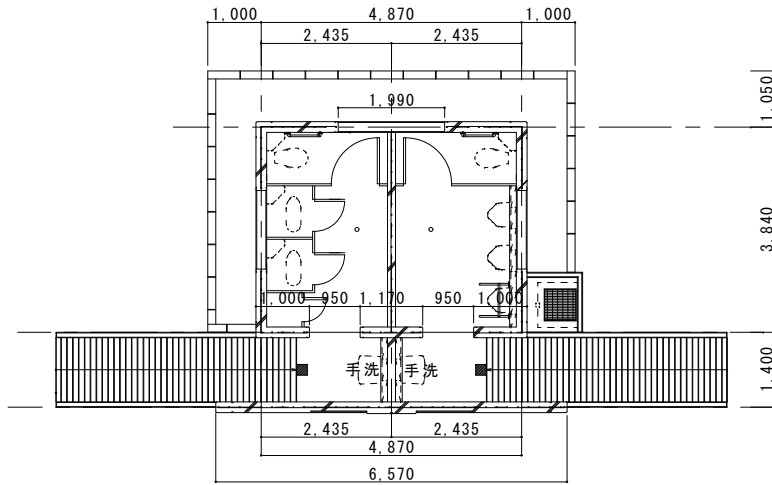
数量	2	塗装	耐候性塗料塗り
----	---	----	---------



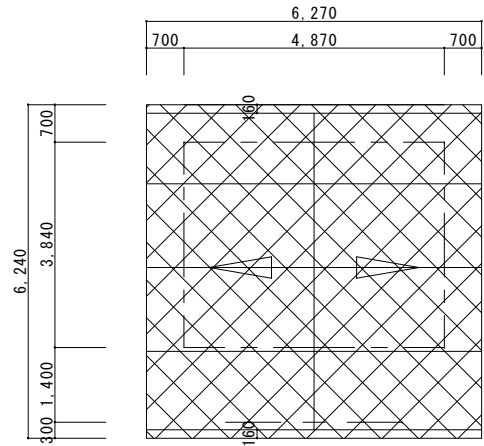
数量	2	見込	70
ガラス	学校用強化ガラス t=4		



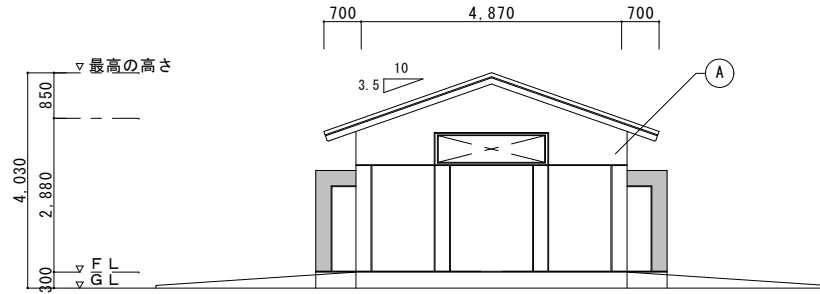
数量	1	塗装	耐候性塗料塗り
----	---	----	---------



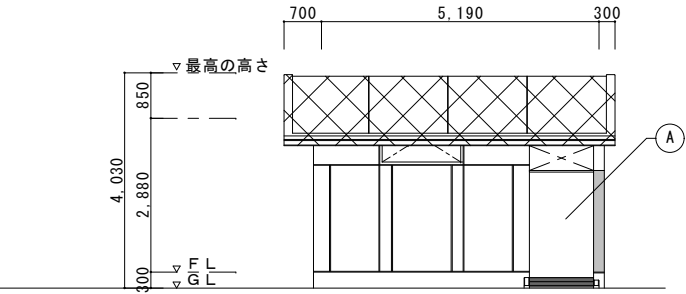
平面図 S=1/50



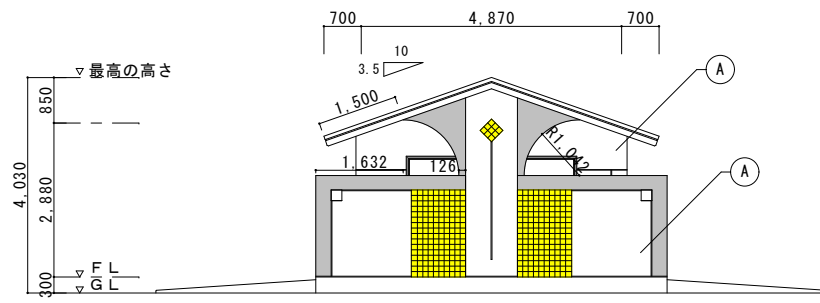
屋根伏図 S=1/50



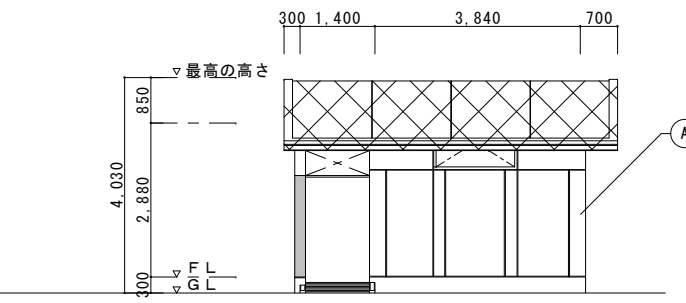
北立面図 S=1/50



西立面図 S=1/50



南立面図 S=1/50



東立面図 S=1/50

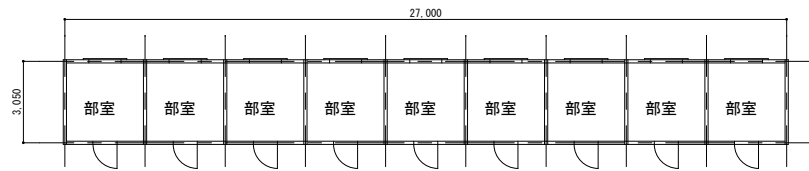
凡例	改修内容
既存	防水モルタルコテ押え
改修	平場・立上り・水洗い、下地調整(クワ処理・目地埋め共)の上 りクワM系塗膜防水(X-2工法) ※手摺基部:100mm程度巻き上げ ◎箇所:既存ドレン撤去 改修ドレン新設
既存	シート防水
改修	平場:水洗い、既存防水層損傷・剝離・浮き部補修の上 合成 高分子系F-7(シート張り) (塩化ビニル樹脂系E-1.5 S-M2機械的固定工法) ◎箇所:SUS脱気層取付 ◎箇所:既存ドレン撤去 改修ドレン新設
既存	シート防水
改修	立上り・溝部:既存防水層撤去、カンー清掃、水洗い、下地調 整(クワ処理共)の上 合成高分子系F-7(シート 張り(塩化ビニル樹脂系E-2.0 S-F2接着工法)) 増部押え(密木・立上り部):7M2クワM45×65取付(ケルグ仕舞)
既存	VP堅樋φ75
改修	既存撤去(金具共)の上 けろVPφ75取付(SUS金具共)
改修	【外壁検査改修工法(F工法)施工範囲】 外壁劣化改修、水洗い、外壁検査改修の上 機層 塗材E塗り(軒裏部分は外装薄塗材E塗り)
共通事項	水洗いの水圧力は15Mpa[N/mm ²]程度とする。 シート防水は建築基準法施行令第82条の4及び4-6基準を満たす ものとする。

凡例・共通事項

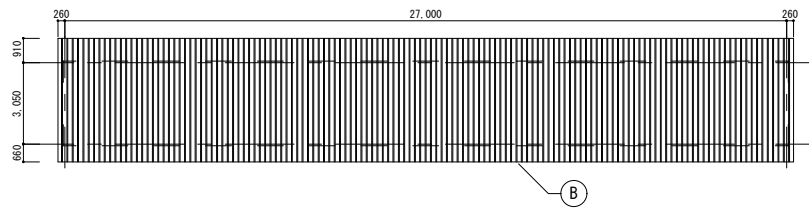
凡例	仕上げ
既存	外壁:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付 軒裏:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付
改修	外壁:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 機層塗材E塗り 軒裏:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 外装薄塗材E塗り ◎部:外壁検査改修工法(F工法)施工範囲
既存	耐震CON壁:外装薄塗材E吹付 耐震鉄部:DP塗装
改修	耐震CON壁:清掃の上 機層塗材E塗り (上塗材2回塗りのみ) 耐震鉄部:下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐震性 塗料塗り(DP)
既存	外壁石綿含有部:アクリルリシン吹付
改修	外壁:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 機層塗材E塗り 軒裏:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 外装薄塗材E塗り
既存	堅樋:VPφ75
改修	既存撤去(金具共)の上 けろVPφ75取付(SUS金具共)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 建具周囲・水切端部:変成シリコンシーリング(MS-2)15×15打替 ・ 既存鉄部:下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐震性塗料塗り(DP) ・ [対象]設備配管・換気口・カザ・カバ・電気BOX・建具(両面・小口・枠共)・その他監督員が指示するもの ・ 基礎幅木は原則水洗いのみ行う。ひび割れ等の補修が必要と思われる場合は監督員と協議する。 	

工事名称	福山市立神辺中学校管理棟校舎外壁改修工事	尺度	S = 1/50
図面名称	屋外便所各立面	縮尺率	図面No.
		縮尺率	14/15
福山市建設局建築部営繕課		A1=100% A2=71% A3=5%	14/15

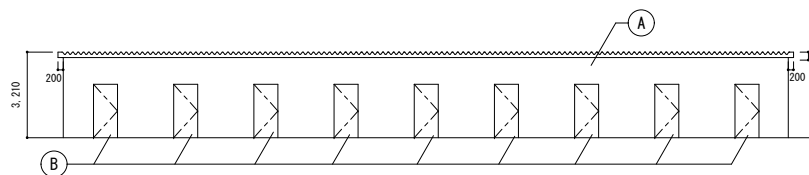
部室棟



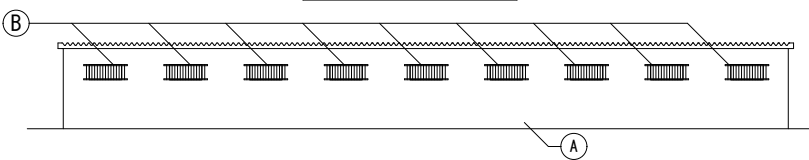
平面図 S=1/100



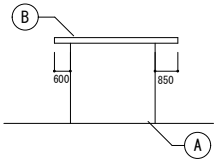
屋根伏図 S=1/100



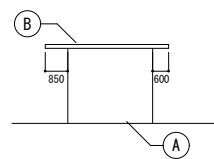
南側立面図 S=1/100



北側立面図 S=1/100



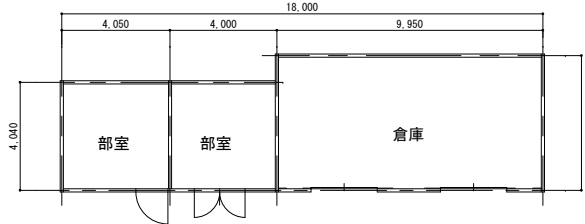
東側立面図 S=1/100



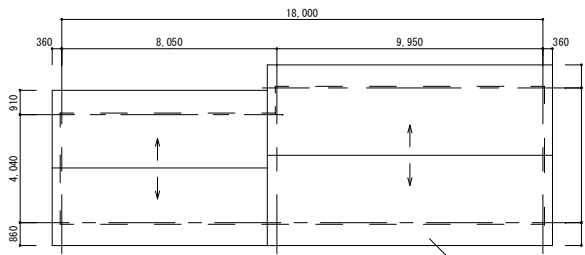
西側立面図 S=1/100

改修内容	
(A)	水洗い、下地調整の上、複層塗材E塗り
(B)	下地調整、錆止め塗料塗りの上、DP塗装

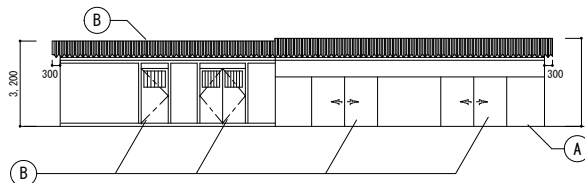
倉庫



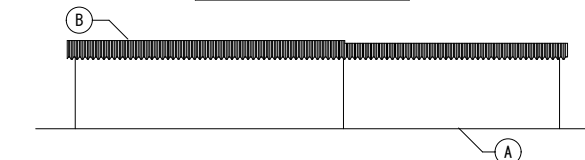
平面図 S=1/100



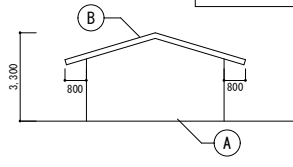
屋根伏図 S=1/100



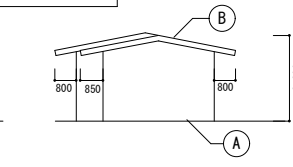
南側立面図 S=1/100



北側立面図 S=1/100



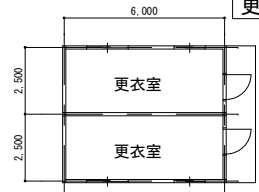
東側立面図 S=1/100



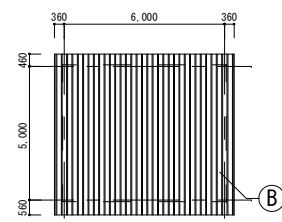
西側立面図 S=1/100

改修内容	
(A)	水洗い、下地調整の上、複層塗材E塗り
(B)	下地調整、錆止め塗料塗りの上、DP塗装

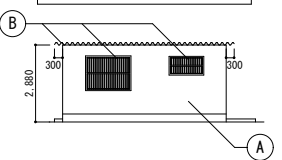
更衣室



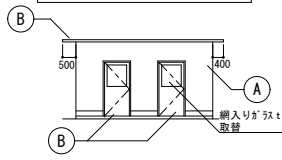
平面図 S=1/100



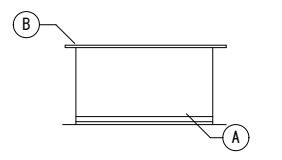
屋根伏図 S=1/100



南側立面図 S=1/100



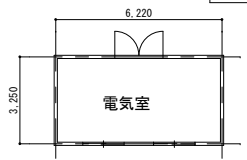
東側立面図 S=1/100



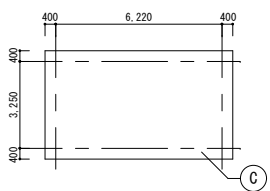
西側立面図 S=1/100

改修内容	
(A)	水洗い、下地調整の上、複層塗材E塗り
(B)	下地調整、錆止め塗料塗りの上、DP塗装
(C)	水洗い、下地調整の上、ウレタン系塗膜防水(X-2工法)

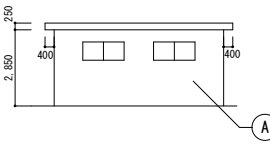
電気室



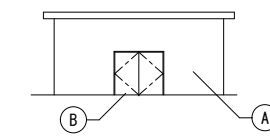
平面図 S=1/100



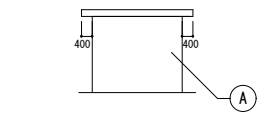
屋根伏図 S=1/100



南側立面図 S=1/100



東側立面図 S=1/100



西側立面図 S=1/100

改修内容	
(A)	外壁改修の上、複層塗材E塗り
(B)	下地調整、錆止め塗料塗りの上、DP塗装
(C)	水洗い、下地調整の上、ウレタン系塗膜防水(X-2工法)

参考数量書

§ 工事名称 福山市立神辺中学校管理棟校舎外壁改修工事

§ 工事場所 福山市神辺町字湯野 1 3 1 3 番地

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市立神辺中学校管理棟校舎外壁改修工事

工事場所 福山市神辺町字湯野 1 3 1 3 番地

【工事概要】
防水改修、外壁改修、建具改修、塗装改修、環境配慮改修

対象建物	管理棟校舎		
	鉄筋コンクリート造	3階建	
	延べ面積	308㎡	
	屋外便所		
	鉄筋コンクリート造	平家建	
	延べ面積	24㎡	
	部室棟		
	コンクリートブロック造	平家建	
	延べ面積	82㎡	
	倉庫		
	コンクリートブロック造	平家建	
	延べ面積	83㎡	
	更衣室		
	コンクリートブロック造	平家建	
	延べ面積	30㎡	
	電気室		
	鉄筋コンクリート造	平家建	
	延べ面積	19㎡	

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

管理棟校舎									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
仮設工事		1		式					
外壁改修工事		1		式					
発生材処分		1		式					
	計								

屋外便所									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
仮設工事		1		式					
外壁改修工事		1		式					
発生材処分		1		式					
	計								

電気室									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
仮設工事		1		式					
外壁改修工事		1		式					
発生材処分		1		式					
	計								

管理棟校舎					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮設工事	直接仮設	1	式		
計					
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	建具改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
外壁改修工事	環境配慮改修工事	1	式		
外壁改修工事	その他改修工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

屋外便所					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
仮設工事	直接仮設	1	式		
計					
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

電気室					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮設工事	直接仮設	1	式		
計					
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

管理棟校舎		仮設工事		直接仮設		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生(外壁改修)		165	m ²			
開口養生		58.1	m ²			
整理清掃後片付け(外壁改修)		165	m ²			
養生(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	282	m ²			
整理清掃後片付け(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	282	m ²			
整理清掃後片付け(内部改修)	2階部分	161	m ²			
墨出し(屋上防水改修)		268	m ²			
くさび緊結式足場(手すり先行方式)	W900 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 10m未満 180日	263	m ²			
くさび緊結式足場(手すり先行方式)	W900 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 20m未満 180日	656	m ²			
くさび緊結式足場	180日 底部 フラケット 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	396	m			
安全手すり(手すり先行方式)	くさび緊結式足場用 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 180日	74.6	m			
外部仕上足場(改修)	階高4.0m以下 180日 渡り廊下内部 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	129	m ²			
防護シート張り	防災I類 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 180日	919	m ²			
金網式養生柵	掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 180日	149	m ²			
出入口安全対策	コンパネ貼り養生(3方) W3600×H3600程度	4	か所			
仮設間仕切	B種 軽量鉄骨下地 片面石こうボード張り	11.9	m ²			
計						

管理棟校舎		外壁改修工事		防水改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水洗浄	防水改修 水洗い 加圧力15MPa程度	292	m ²			
ケレン・清掃	防水面 ケレン・清掃	292	m ²			
改修用ルーフトレン (トーム型)	75φ 縦型 材工共	8	か所			
出隅部面取り	ケルタクコム系塗膜防水施工小庇・バルコ ニ立上り上端部 シート防水施工立上り内上端部	161	m			
下地調整 改修仕様 (塗膜防水)	下地処理・クラック処理	23.5	m ²			
ケルタクコム系 塗膜防水	X-2 笠木・手摺天端	118	m			
端部押え金物撤去	シーリング撤去共 集積共	92.2	m			
既存防水層撤去	屋上防水層 シート防水層 集積共	55.4	m ²			
下地調整 改修仕様 (シート防水)	ボリマゼメントベスト	55.4	m ²			
合成高分子系ルーフィ ングシート防水 (S-F2)	接着工法(S-F2) t2.0 材工共	55.4	m ²			
合成高分子系ルーフィ ングシート防水 (S-M2)	機械的固定工法(S-M2) t1.5 材工共	213	m ²			
防水押えアルミアングル (材工共)	L-45*65*1.5 ジョイント、ビス含む シーリング共	92.2	m			
SUS脱気筒	材工共	4	か所			
シーリング	変成シリコン(2成分形)MS-2 15×10 建具周囲(内外)	346	m			
たてどい撤去	VP管 集積共 金具共	60.6	m			
樋防護管 撤去	鉄製防護管 H=1.6m程度	5	か所			
硬質ポリ塩化 ビニル管とい(カラー)	径75 SUS金具共	60.6	m			
エルボ	径75 80° エルボ	2	か所			
計						

管理棟校舎		外壁改修工事		外壁劣化改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	863	㎡			
A-2 モルタル面表面劣化処理		20.3	㎡			
B-6 モルタル面Uカットシール材 注入工法	1.0mm以上 挙動 有り	21.1	m			
C-2 クラック部モルタル面 サビ鉄筋処理		28.7	m			
D-1 モルタル面はつり	0.25㎡以上	1.4	㎡			
D-2 モルタル面アンカービ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25㎡以下 一般部(16カ所/㎡)	26.1	㎡			
D-2 モルタル面アンカービ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25㎡以下 指定部(25カ所/㎡)	10.1	㎡			
D-2 モルタル面アンカービ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25㎡以下 狭幅部(5カ所/m)	24.9	m			
E-3 モルタル面欠損部処理	樹脂モルタル	1.3	㎡			
F 外壁複合改修	ビニネット工法	164	㎡			
アルミ水切り取付 (材工共)	アルミ製 L-30×15×2.0 ステンレスビス@450含む	79.6	m			
計						

管理棟校舎		外壁改修工事		建具改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
【建具】						
既存建具撤去費	既存建物内部 養生費 撤去後開口 養生費共	17	か所			
カハ-工法 SW-1	2連引違い窓 W2870×H900 取付・運搬・実測調査管理費共	3	か所			
カハ-工法 SW-2	すべり出し窓 W585×H381 取付・運搬・実測調査管理費共	1	か所			
カハ-工法 SW-3	引違い窓 W1200×H900 取付・運搬・実測調査管理費共	1	か所			
カハ-工法 SW-4	2段引違い窓 W1900×H1800 取付・運搬・実測調査管理費共	6	か所			
カハ-工法 SW-5	引違い窓 W1600×H1000 取付・運搬・実測調査管理費共	2	か所			
カハ-工法 SW-6	2連2段引違い窓 W2870×H1900 取付・運搬・実測調査管理費共	2	か所			
カハ-工法 SW-7	2段引違い窓 W1400×H1900 取付・運搬・実測調査管理費共	2	か所			
【ガラス】						
既存ガラス撤去費		17	か所			
ガラス廻りシーリング	6×8	228	m			
SW-1(ガラス)	強化型板ガラスt=4 700×900 運搬費共	4	枚			
SW-2(ガラス)	強化型板ガラスt=4 585×381 運搬費共	1	枚			
SW-3(ガラス)	学校用強化ガラスt=4 600×900 運搬費共	2	枚			
SW-4(ガラス)	学校用強化ガラスt=4 900×900 運搬費共	8	枚			
SW-4(ガラス)	学校用強化ガラスt=4 1800×300 運搬費共	2	枚			
SW-5(ガラス)	学校用強化ガラスt=4 800×1000 運搬費共	2	枚			
SW-6(ガラス)	学校用強化ガラスt=4 700×900 運搬費共	8	枚			
SW-6(ガラス)	学校用強化ガラスt=4 1400×300 運搬費共	2	枚			

管理棟校舎		外壁改修工事			塗装改修工事	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水洗浄	外壁塗装改修 水洗い 加圧力15Mpa程度	982	㎡			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	195	㎡			
複層塗材 E	コンクリート面 ゆず肌状 ローラー塗り アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	645	㎡			
E P - G 塗り 改修仕様	モルタル面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	56.3	㎡			
DP塗り(細物) (換気口・配管)	VP管 3級 B種 下地調整RB種 配管端末穴埋共	105	m			
DP塗り(設備BOX)	鉄鋼面 3級 B種 下地調整RB種 下塗り(錆止)共	10	㎡			
DP塗り (建具900×1800 程度 両面 枠共)	鉄鋼面 3級 B種 下地調整RB種 下塗り(錆止)・建具調整共	2	か所			
DP塗り (建具1600×1800 程度 両面 枠共)	鉄鋼面 3級 B種 下地調整RB種 下塗り(錆止)・建具調整共	2	か所			
計						

屋外便所		外壁改修工事		防水改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水洗浄	防水改修 水洗い 加圧力15MPa程度	41.5	㎡			
ケレン・清掃	防水面 ケレン・清掃	41.5	㎡			
出隅部面取り	ウレタンゴム系塗膜防水施工小庇・バルコ ニ立上り上端部 シート防水施工立上り内上端部	47.8	m			
下地調整 改修仕様 (塗膜防水)	下地処理・クラック処理	41.5	㎡			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 平面	41.5	㎡			
計						

部室棟		外壁改修工事			塗装改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
水洗浄	外壁塗装改修 水洗い 加圧力15Mpa程度	150	m ²				
複層塗材 E	コンクリート面 ゆず肌状 ロータ塗リ アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	150	m ²				
DP塗り(屋根)	鉄鋼面 3級 B種 下地調整RB種 下塗り(錆止)共	201	m ²				
DP塗り (建具900×1800 程度 両面 枠共)	鉄鋼面 3級 B種 下地調整RB種 下塗り(錆止)・建具調整共	9	か所				
計							

電気室		外壁改修工事	防水改修工事			
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水洗浄	防水改修 水洗い 加圧力15MPa程度	28.4	m ²			
ケレン・清掃	防水面 ケレン・清掃	28.4	m ²			
出隅部面取り	ウレタンゴム系塗膜防水施工小庇・パルコニ ー立上り上端部 シート防水施工立上り内上端部	37.8	m			
下地調整 改修仕様 (塗膜防水)	下地処理・クラック処理	28.4	m ²			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 平面	28.4	m ²			
計						

電気室		外壁改修工事			外壁劣化改修工事	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	61.2	m ²			
A-2 モルタル面表面劣化処理		1.6	m ²			
B-6 モルタル面Uカットシール材 注入工法	1.0mm以上 挙動 有り	1.7	m			
C-2 クラック部モルタル面 サビ 鉄筋処理		2.3	m			
D-1 モルタル面はつり	0.25m ² 以上	0.1	m ²			
D-2 モルタル面アンカー・ビ ンニング 部分注入エポ キシ樹脂	0.25m ² 以下 一般部 (16カ所/m ²)	2.1	m ²			
D-2 モルタル面アンカー・ビ ンニング 部分注入エポ キシ樹脂	0.25m ² 以下 指定部 (25カ所/m ²)	0.8	m ²			
D-2 モルタル面アンカー・ビ ンニング 部分注入エポ キシ樹脂	0.25m ² 以下 狭幅部 (5カ所/m)	2	m			
E-3 モルタル面欠損部処理	樹脂モルタル	0.1	m ²			
計						

